

1-1. アンケート調査の対象施設及びアンケート回答状況

(1) アンケート調査の対象施設は、現在の稼働している火葬場 1,393 箇所（厚生労働省 令和2年度衛生行政報告例）のうち、火葬炉数4基以上の火葬場 501 施設を対象とした（※）。

（※）NPO 法人日本環境斎苑協会が従来行ってきた調査によると、規模の非常に小さい火葬炉数3基以下の火葬場においては、遺体安置を行っている施設の割合が少ないと想定されたため。

(2) アンケートの回答状況は、回答票数 326 施設、アンケート回答率 65.1%（326/501×100）である。

(3) 地区別の回答状況は、中部地区 82 施設（回答率 25.2%）、近畿地区 61 施設（同 18.7%）、関東地区 59 施設（同 18.1%）から北海道・東北地区 39 施設（同 12.0%）と多少見られるが、ほぼ全国を平均的に検討できる調査であった。

(4) 全国を東日本（北海道、東北、関東、中部地方）と西日本（近畿、中国、四国、九州沖縄地方）に分けた場合の回答状況は、東日本 55.2%、西日本 44.8%であり、ほぼ同程度であった。

(5) 対象施設を規模別（火葬炉4基又は5基施設と6基以上施設）に分けた場合の回答状況は、4基又は5基施設 49.1%、6基以上施設 50.9%であり、ほぼ同程度であった。

表 1-1 地区別対象施設数と回答状況

地区名	区分	対象施設数	割合%	回答数	回答率%
北海道・東北		57	11.4	39	68.4
関東		104	20.8	59	56.7
中部		105	21.0	82	78.1
近畿		100	20.0	61	61.0
中国・四国		67	13.4	41	61.2
九州沖縄		68	13.6	44	64.7
合計		501	100.0	326	65.1

図 1-1 地区別回答状況

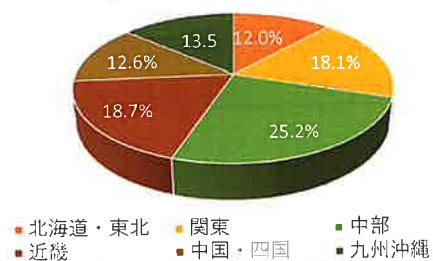


表 1-2 地域別回答状況

地域名	区分	対象施設数	割合%	回答数	回答率%
東日本		266	53.1	180	55.2
西日本		235	46.9	146	44.8
合計		501	100.0	326	100.0

注：東日本：北海道・東北・関東・中部地方
西日本：近畿・中国・四国・九州沖縄地方

図 1-2 地域別回答状況

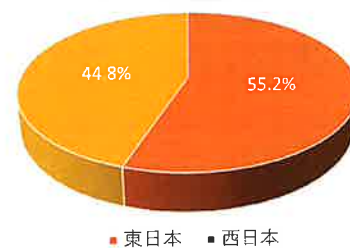
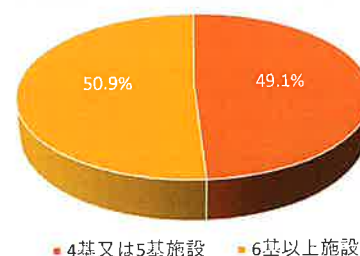


表 1-3 規模別回答状況

規模名	区分	対象施設数	割合%	回答数	回答率%
4基又は5基施設		254	50.7	160	49.1
6基以上施設		247	49.3	166	50.9
合計		501	100.0	326	100.0

図 1-3 規模別回答状況



1-2. 火葬場の遺体安置について

1-2-1. 遺体の安置の状況

- (1) 火葬場の遺体安置機能の有無については、回答数 324 に対して「あり」が 227 施設 (70.1%)、「なし」が 97 施設 (29.9%) である。地域別に見ると、東日本、西日本に顕著な差異は認められない。規模別に見ると、4 基又は 5 基施設の「あり」が 61.4%、6 基以上施設が 78.3%と、やや大規模な施設に多い傾向にある。
- (2) 遺体安置の機能については、上記で「あり」と回答した 227 施設のうち 226 施設の回答で、「遺体冷蔵庫」が 189 施設 (83.6%)、「遺体安置室が冷蔵機能持っている」が 12 施設 (5.3%)、「遺体安置室に冷蔵機能がない」が 25 施設 (11.1%) であり、多くが遺体冷蔵庫 (いわゆる保冷库) である。なお、「遺体安置室に冷蔵機能がない」場合は、棺内にドライアイス等の保冷剤を入れてご遺体を冷却するものと考えられる。地域別、規模別に見ると、あまり顕著な差異は見られないが、やや建設年代が古い施設が多い西日本に「遺体安置室に冷蔵機能がない」施設の割合が多いと思われる。
- (3) 遺体安置の収容能力については、平均 2.3 体 (範囲: 1~24 体) であり、1 体が 102 施設 (45.1%)、2 体が 73 施設 (32.3%) と多くを占めている。地域別に見ると、西日本の 1 体、2 体の割合が多くなっている。また、収容能力の高い火葬場が東日本、特に首都圏に集中しているとも言える。規模別に見ると、6 基以上施設の 1 体、2 体の割合が 66.9%と意外に高いと思われる。
- (4) 令和 2 年度の遺体の安置を行った実績については、平均 115.7 体 (範囲: 0~6,759 体) であり、0 体 (実績なし) と 1~50 体で 143 施設 (65.9%) と半数以上を占めている。地域別に見ると、東日本に収容能力の高い火葬場があるため、西日本に比べ実績が多くなっている。
- (5) 遺体の安置 (待機) を行った時間の令和 2 年度の平均日数の実績は、平均 1.71 日間 (範囲: 1 日以下~9.5 日間) であり、2 日以下が 124 施設 (79.5%) とかなり多くを占めている。令和 2 年度の最大日数は、平均 5.36 日間 (範囲: 2 日以下~60 日) であり、4 日以下が 96 施設 (66.7%) と比較的多くを占めている。
- (6) 遺体の安置 (待機) を行った時間の近年の変化については、「あまり変わらない」が 156 施設 (84.3%) と最も多いが、「増加している」が 19 施設 (10.3%) を占めている。増加の程度は、30~50%が 6 施設となっている。
- (7) 遺体の安置 (待機) を行った時間が長い場合のトラブルについては、「ある」が 3 施設 (1.6%)、臭気に関するトラブルであり、トラブルが非常に少ない程度と言える。

表 2-1-1 遺体安置の機能の有無（全国）【設問 11-1】

区分	項目	施設数	構成比%
あ	り	227	70.1
な	し	97	29.9
合	計	324	100.0

図 2-1-1 遺体安置の機能の有無（全国）【設問 11-1】

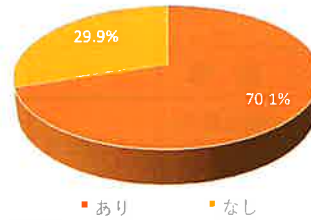


表 2-1-2 遺体安置の機能の有無（東日本）【設問 11-1】

区分	項目	施設数	構成比%
あ	り	126	70.0
な	し	54	30.0
合	計	180	100.0

図 2-1-2 遺体安置の機能の有無（東日本）【設問 11-1】

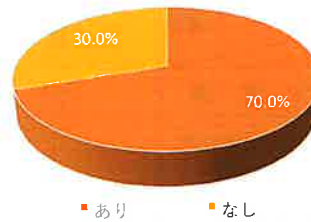


表 2-1-3 遺体安置の機能の有無（西日本）【設問 11-1】

区分	項目	施設数	構成比%
あ	り	101	70.1
な	し	43	29.9
合	計	144	100.0

図 2-1-3 遺体安置の機能の有無（西日本）【設問 11-1】

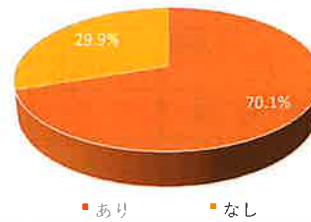


表 2-1-4 遺体安置の機能の有無（4基又は5基施設）【設問 11-1】

区分	項目	施設数	構成比%
あ	り	97	61.4
な	し	61	38.6
合	計	158	100.0

図 2-1-4 遺体安置の機能の有無（4基又は5基施設）【設問 11-1】

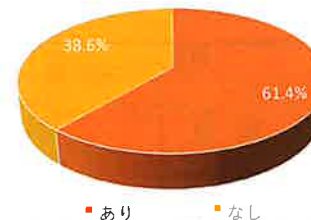


表 2-1-5 遺体安置の機能の有無（6基以上施設）【設問 11-1】

区分	項目	施設数	構成比%
あ	り	130	78.3
な	し	36	21.7
合	計	166	100.0

図 2-1-5 遺体安置の機能の有無（6基以上施設）【設問 11-1】

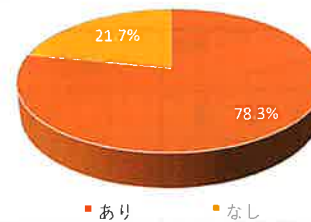


表 2-2-1 遺体安置の機能について (全国)【設問 11-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体冷蔵庫	189	83.6
	遺体安置室に冷蔵機能有	12	5.3
	遺体安置室に冷蔵機能無	25	11.1
合	計	226	100.0

図 2-2-1 遺体安置の機能について【設問 11-2】



表 2-2-2 遺体安置の機能について (東日本)【設問 11-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体冷蔵庫	111	88.1
	遺体安置室に冷蔵機能有	5	4.0
	遺体安置室に冷蔵機能無	10	7.9
合	計	126	100.0

図 2-2-2 遺体安置の機能について (東日本)【設問 11-2】

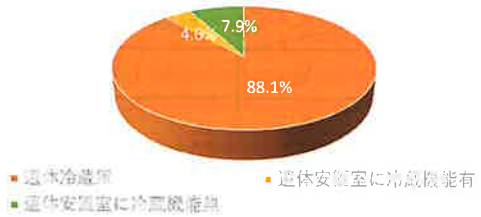


表 2-2-3 遺体安置の機能について (西日本)【設問 11-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体冷蔵庫	78	78.0
	遺体安置室に冷蔵機能有	7	7.0
	遺体安置室に冷蔵機能無	15	15.0
合	計	100	100.0

図 2-2-3 遺体安置の機能について (西日本)【設問 11-2】

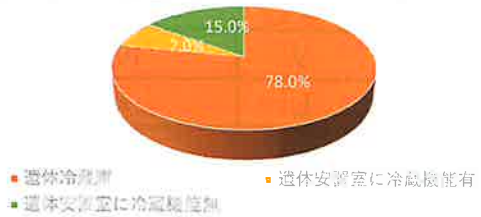


表 2-2-4 遺体安置の機能について (4基又は5基施設)【設問 11-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体冷蔵庫	80	92.0
	遺体安置室に冷蔵機能有	6	6.9
	遺体安置室に冷蔵機能無	1	1.1
合	計	87	100.0

図 2-2-4 遺体安置の機能について (4基又は5基施設)【設問 11-2】

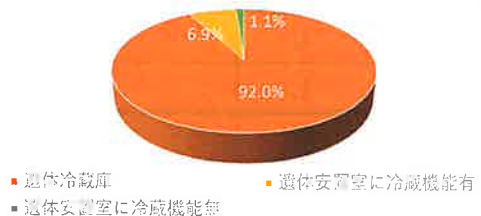


表 2-2-5 遺体安置の機能について (6基以上施設)【設問 11-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体冷蔵庫	109	84.5
	遺体安置室に冷蔵機能有	6	4.7
	遺体安置室に冷蔵機能無	14	10.9
合	計	129	100.0

図 2-2-5 遺体安置の機能について (6基以上施設)【設問 11-2】



表 2-3-1 遺体安置の収容能力（全国）【設問 11-3】

区分	項目	施設数	構成比%
1	体分	102	45.1
2	体分	73	32.3
3	～5体分	38	16.8
6	～10体分	10	4.4
11	体分以上	3	1.3
合計		226	100.0
平均 2.3 体、最大 24 体			

図 2-3-1 遺体安置の収容能力（全国）【設問 11-3】

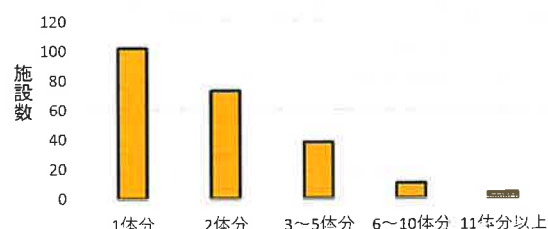


表 2-3-2 遺体安置の収容能力（東日本）【設問 11-3】

区分	項目	施設数	構成比%
1	体分	46	36.8
2	体分	41	32.8
3	～5体分	27	21.6
6	～10体分	8	6.4
11	体分以上	3	2.4
合計		125	100.0
平均 2.7 体、最大 24 体			

図 2-3-2 遺体安置の収容能力（東日本）【設問 11-3】

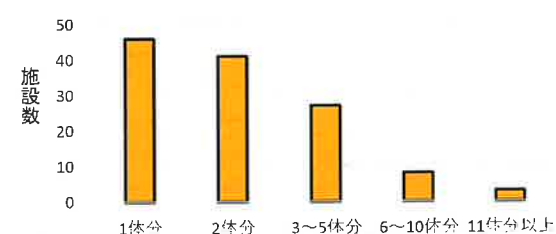


表 2-3-3 遺体安置の収容能力（西日本）【設問 11-3】

区分	項目	施設数	構成比%
1	体分	56	55.4
2	体分	32	31.7
3	～5体分	11	10.9
6	～10体分	2	2.0
11	体分以上	0	0.0
合計		101	100.0
平均 1.8 体、最大 10 体			

図 2-3-3 遺体安置の収容能力（西日本）【設問 11-3】

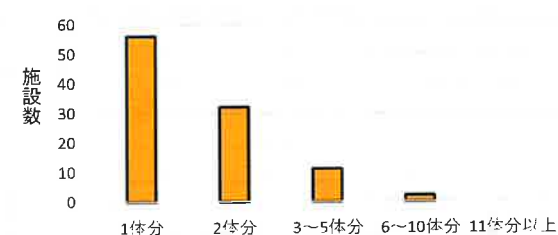


表 2-3-4 遺体安置の収容能力（4基又は5基施設）【設問 11-3】

区分	項目	施設数	構成比%
1	体分	61	63.5
2	体分	27	28.1
3	～5体分	8	8.3
6	～10体分	0	0.0
11	体分以上	0	0.0
合計		96	100.0
平均 1.5 体、最大 4 体			

図 2-3-4 遺体安置の収容能力（4基又は5基施設）【設問 11-3】

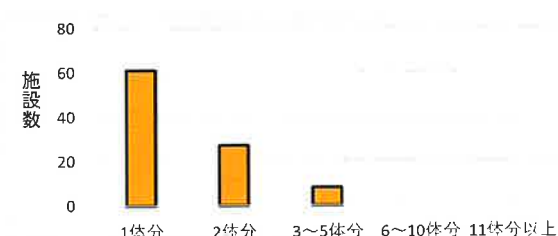


表 2-3-5 遺体安置の収容能力（6基以上施設）【設問 11-3】

区分	項目	施設数	構成比%
1	体分	41	31.5
2	体分	46	35.4
3	～5体分	30	23.1
6	～10体分	10	7.7
11	体分以上	3	2.3
合計		130	100.0
平均 2.9 体、最大 24 体			

図 2-3-5 遺体安置の収容能力（6基以上施設）【設問 11-3】

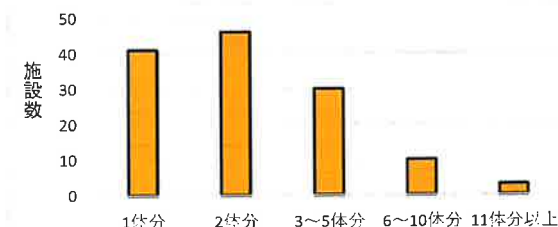


表2-4-1 令和2年度遗体安置を行った実績（全国）【設問11-4】

区分	項目	施設数	構成比%
	0体（実績なし）	40	18.4
	1～50体	103	47.5
	51～100体	25	11.5
	101～500体	40	18.4
	501体以上	9	4.1
合計		217	100.0
平均 115.7 体、最大 6,759 体			

図2-4-1 令和2年度遗体安置を行った実績（全国）【設問11-4】

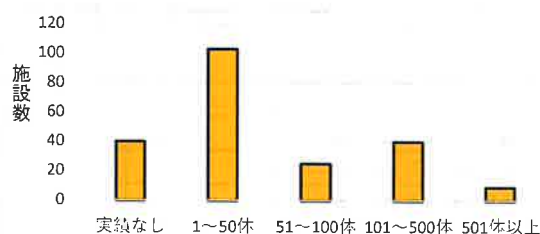


表2-4-2 令和2年度遗体安置を行った実績（東日本）【設問11-4】

区分	項目	施設数	構成比%
	0体（実績なし）	24	19.8
	1～50体	54	44.6
	51～100体	14	11.6
	101～500体	22	18.2
	501体以上	7	5.8
合計		121	100.0
平均 153.6 体、最大 6,759 体			

図2-4-2 令和2年度遗体安置を行った実績（東日本）【設問11-4】

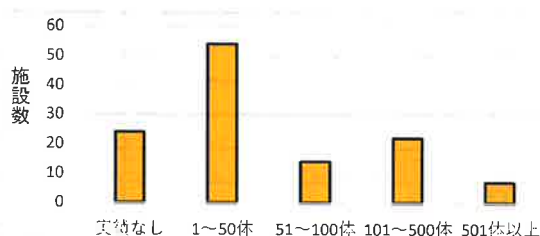


表2-4-3 令和2年度遗体安置を行った実績（西日本）【設問11-4】

区分	項目	施設数	構成比%
	0体（実績なし）	16	16.7
	1～50体	49	51.0
	51～100体	11	11.5
	101～500体	18	18.8
	501体以上	2	2.1
合計		96	100.0
平均 67.8 体、最大 617 体			

図2-4-3 令和2年度遗体安置を行った実績（西日本）【設問11-4】

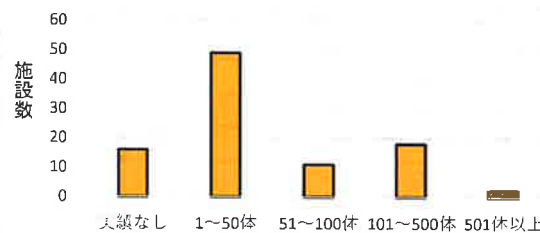


表2-4-4 令和2年度遗体安置を行った実績（4基又は5基施設）【設問11-4】

区分	項目	施設数	構成比%
	0体（実績なし）	18	20.0
	1～50体	56	62.2
	51～100体	8	8.9
	101～500体	7	7.8
	501体以上	1	1.1
合計		90	100.0
平均 40.8 体、最大 1,139 体			

図2-4-4 令和2年度遗体安置を行った実績（4基又は5基施設）【設問11-4】

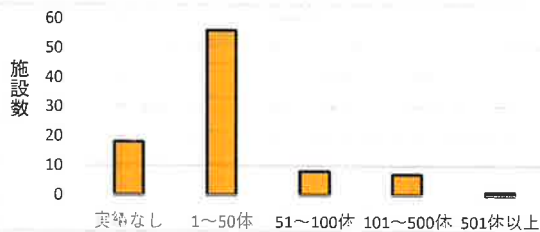


表2-4-5 令和2年度遗体安置を行った実績（6基以上施設）【設問11-4】

区分	項目	施設数	構成比%
	0体（実績なし）	22	17.3
	1～50体	47	37.0
	51～100体	17	13.4
	101～500体	33	26.0
	501体以上	8	6.3
合計		127	100.0
平均 168.7 体、最大 6,759 体			

図2-4-5 令和2年度遗体安置を行った実績（6基以上施設）【設問11-4】

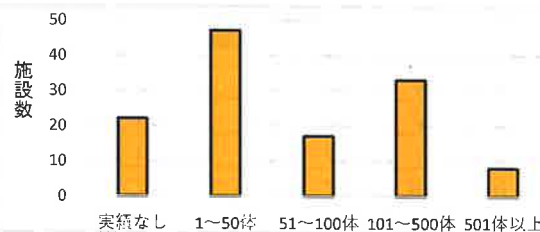


表 2-5-1 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（全国）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
	1 日間以下	78	50.0
	1.1～2 日間	46	29.5
	2.1～3 日間	18	11.5
	3.1～4 日間	9	5.8
	4.1 日間以上	5	3.2
合 計		156	100.0
平均 1.71 日間、最大 9.5 日間			

表 2-5-2 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（東日本）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
	1 日間以下	29	34.5
	1.1～2 日間	26	31.0
	2.1～3 日間	18	21.4
	3.1～4 日間	6	7.1
	4.1 日間以上	5	6.0
合 計		84	100.0
平均 2.11 日間、最大 9.5 日間			

表 2-5-3 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（西日本）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
	1 日間以下	49	68.1
	1.1～2 日間	20	27.8
	2.1～3 日間	0	0.0
	3.1～4 日間	3	4.2
	4.1 日間以上	0	0.0
合 計		72	100.0
平均 1.25 日間、最大 4.0 日間			

表 2-5-4 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（4 基又は 5 基施設）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
	1 日間以下	35	52.2
	1.1～2 日間	24	35.8
	2.1～3 日間	7	10.4
	3.1～4 日間	1	1.5
	4.1 日間以上	0	0.0
合 計		67	100.0
平均 1.48 日間、最大 4.0 日間			

表 2-5-5 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（6 基以上施設）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
	1 日間以下	43	48.3
	1.1～2 日間	22	24.7
	2.1～3 日間	11	12.4
	3.1～4 日間	8	9.0
	4.1 日間以上	5	5.6
合 計		89	100.0
平均 1.89 日間、最大 9.5 日間			

図 2-5-1 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（全国）【設問 11-5】

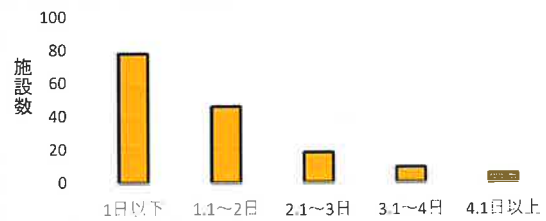


図 2-5-2 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（東日本）【設問 11-5】

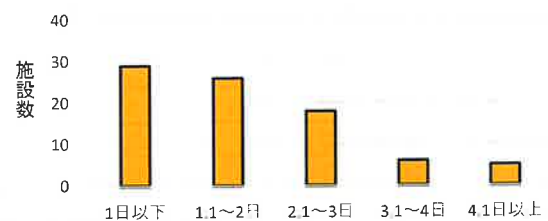


図 2-5-3 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（西日本）【設問 11-5】

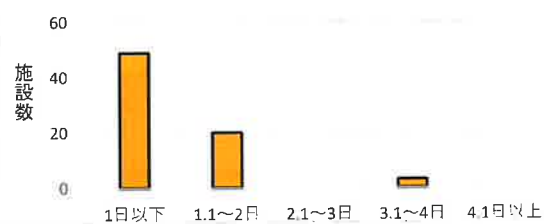


図 2-5-4 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（4 基又は 5 基施設）【設問 11-5】

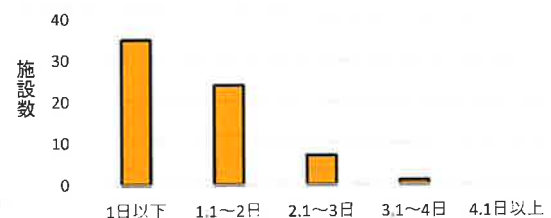


図 2-5-5 令和 2 年度遗体安置時間実績（平均）（6 基以上施設）【設問 11-5】

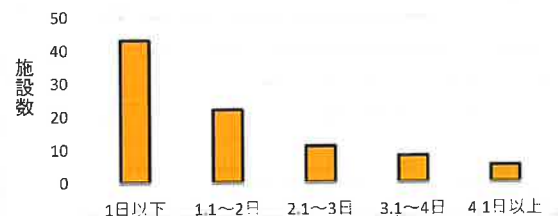


表 2-6-1 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（全国）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
2 日間以下		56	38.9
2.1～4 日間		40	27.8
4.1～6 日間		15	10.4
6.1～10 日間		25	17.4
10.1 日間以上		8	5.6
合計		144	100.0
平均 5.36 日間、最大 60 日間			

図 2-6-1 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（全国）【設問 11-5】

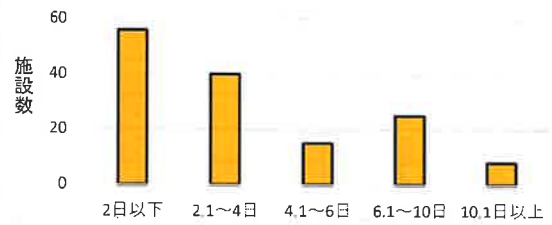


表 2-6-2 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（東日本）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
2 日間以下		23	29.5
2.1～4 日間		18	23.1
4.1～6 日間		10	12.8
6.1～10 日間		23	29.5
10.1 日間以上		4	5.1
合計		78	100.0
平均 6.14 日間、最大 60 日間			

図 2-6-2 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（東日本）【設問 11-5】

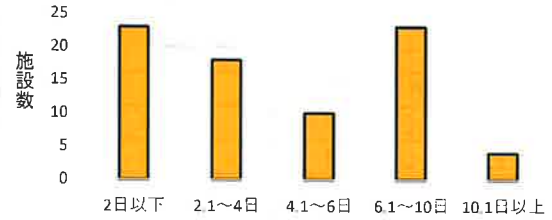


表 2-6-3 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（西日本）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
2 日間以下		33	50.0
2.1～4 日間		22	33.3
4.1～6 日間		5	7.6
6.1～10 日間		2	3.0
10.1 日間以上		4	6.1
合計		66	100.0
平均 4.44 日間、最大 60 日間			

図 2-6-3 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（西日本）【設問 11-5】

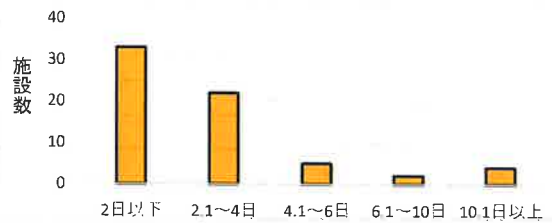


表 2-6-4 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（4 基又は 5 基施設）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
2 日間以下		25	41.0
2.1～4 日間		21	34.4
4.1～6 日間		6	9.8
6.1～10 日間		8	13.1
10.1 日間以上		1	1.6
合計		61	100.0
平均 4.32 日間、最大 60 日間			

図 2-6-4 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（4 基又は 5 基施設）【設問 11-5】

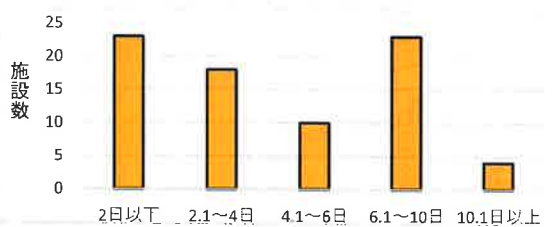


表 2-6-5 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（6 基以上施設）【設問 11-5】

区分	項目	施設数	構成比%
2 日間以下		31	37.3
2.1～4 日間		19	22.9
4.1～6 日間		9	10.8
6.1～10 日間		17	20.5
10.1 日間以上		7	8.4
合計		83	100.0
平均 6.10 日間、最大 60 日間			

図 2-6-5 令和 2 年度遗体安置時間実績（最大）（6 基以上施設）【設問 11-5】

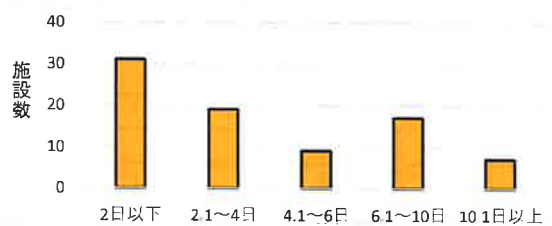


表2-7 安置（待機）時間の近年の変化【設問11-6】

区分	項目	施設数	構成比%
	増加している	19	10.3
	あまり変わらない	156	84.3
	減っている	10	5.4
合	計	185	100.0

図2-7 安置（待機）時間の近年の変化【設問11-6】



表2-8 遺体安置時間の増加の程度【設問11-6】

火葬場名	都道府県	設問11-6の増加の程度
仙台市葛岡斎場	宮城県	30%
水戸市斎場	茨城県	H28年度比5割増
岐阜市斎苑	岐阜県	H30平均6日
セレモニーホールとぼね	愛知県	1.5倍程度
尾張北部聖苑	愛知県	3~4割程度
知多斎場	愛知県	数十件程度
箕面市立聖苑	大阪府	前年から110%
河内長野市営斎場金剛霊殿	大阪府	直近では微増
西脇多可広域斎場	兵庫県	1日程度
東山霊園火葬場	奈良県	1体当たり平均半日程度
五色台聖苑	和歌山県	10年前より1.3倍増
防府市斎場（悠久苑）	山口県	3割増し

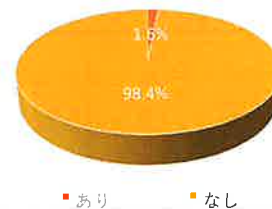
表2-9 遺体安置時間の減少の程度【設問11-6】

火葬場名	都道府県	設問11-6の減少の程度
入間東部広域斎場しののめの里	埼玉県	若干
東京都瑞江葬儀所	東京都	5分の1程度
相模原市営斎場	神奈川県	対H30比-0.6日、対R1比-0.4
しんしろ斎苑	愛知県	2年前の6割程度
福山市中央斎場、西部斎場	広島県	3件程度減
徳島市立葬斎場	徳島県	民間の葬斎場施設が充実したため、年々減少傾向にあり、5年前の1/5程度に減っている
香南斎場	高知県	前年度比13%減
水俣芦北広域火葬場「ななうら苑」	熊本県	10年間0件

表2-10 安置時間が長い場合のトラブル【設問11-7】

区分	項目	施設数	構成比%
	あり	3	1.6
	なし	190	98.4
合	計	193	100.0

図2-8 安置時間が長い場合のトラブル【設問11-7】



「ある」場合の頻度
臭が発生した場合
年に数回

1-2-2. 遺体安置の利用

- (1) 遺体安置の利用者は、通常の火葬待ち（火葬までの待機）が139施設（39.9%）、身寄りのないご遺体等の福祉関係が127施設（36.5%）、身元不明のご遺体等の警察関係が53施設（15.2%）となっている。
- (2) 遺体安置の目的は、「火葬の順番待ち」が128施設（44.1%）、「遺族が揃うまで」が68施設（23.4%）、「火葬の許可待ち」が64施設（22.1%）となっている。
- (3) 遺体安置の使用料は、「有料」が183施設（84.7%）、「無料」が33施設（15.3%）であり、有料がかなり多くを占めている。具体的な料金については、「1時間当たり」を記載したのが9施設（5.1%）と少ないので、1日当たりを対象とする。管内、1日当たりの料金は、平均3,108円（範囲0～11,000円）であり、1,001～3,000円が65施設（38.9%）、3,001～5,000円が42施設（25.1%）、0～1,000円が35施設（21.0%）とばらついている。管外、1日当たりを見ると、平均8,019円（範囲500～40,000円）であり、管内同様ばらついている。地域別、規模別に平均金額を見ると、西日本、4基又は5基施設がやや高い傾向にある。管外/管内比を見ると、平均2.86（範囲1.50～7.22）であり、2以下が36施設（48.6%）、2.1～3が15施設（20.3%）、3.1～4が13施設（17.6%）となっている。

表2-11 安置遺体の利用者【設問12-1】

区分	項目	施設数	構成比%
	通常の火葬	139	39.9
	福祉関係	127	36.5
	外国籍遺体	13	3.7
	警察関係	53	15.2
	その他	16	4.6
	合計	348	100.0

図2-9 安置遺体の利用者【設問12-1】



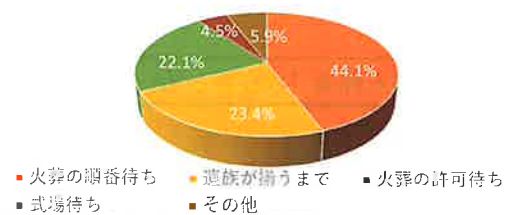
その他：安置場所がない4件、式場利用者3件、コロナ感染遺体3件

緊急時に市が一時的に保管するためのもの、やむを得ない理由により火葬が延期となる場合
遺族の希望による、葬儀業者ではなく市に直接依頼があった火葬
使用の事由があると市長が認めたもの、遺体の状態が宗家・葬祭会館での保管ができない状態

表2-12 遺体安置の目的【設問12-2】

区分	項目	施設数	構成比%
	火葬の順番待ち	128	44.1
	遺族が揃うまで	68	23.4
	火葬の許可待ち	64	22.1
	式場待ち	13	4.5
	その他	17	5.9
	合計	290	100.0

図2-10 遺体安置の目的【設問12-2】



その他：遺族が希望された場合2件

葬儀社の都合、遺族の料金節約、福祉関係、コロナ関係、遺族の希望
他施設での許容オーバーに対するもの、業者の安置場所がない時、非常時の対応用
困窮のため、身寄りのないご遺体の安置、民間よりも使用料が安い

表 2-13-1 遺体安置の保管料金（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
有	料	183	84.7
無	料	33	15.3
合	計	216	100.0

図 2-11-1 遺体安置の保管料金（全国）【設問 13】

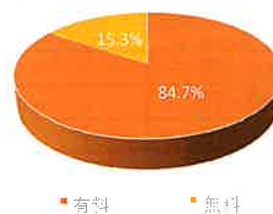


表 2-13-2 遺体安置の保管料金（東日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
有	料	99	84.6
無	料	18	15.4
合	計	117	100.0

図 2-11-2 遺体安置の保管料金（東日本）【設問 13】

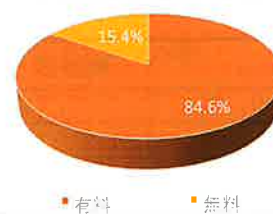


表 2-13-3 遺体安置の保管料金（西日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
有	料	84	84.8
無	料	15	15.2
合	計	99	100.0

図 2-11-3 遺体安置の保管料金（西日本）【設問 13】

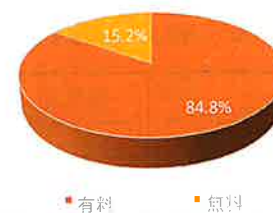


表 2-13-4 遺体安置の保管料金（4基又は5基施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
有	料	75	80.6
無	料	18	19.4
合	計	93	100.0

図 2-11-4 遺体安置の保管料金（4基又は5基施設）【設問 13】

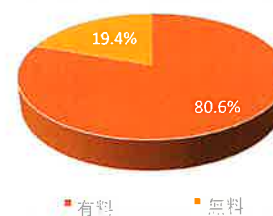


表 2-13-5 遺体安置の保管料金（6基以上施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
有	料	108	87.8
無	料	15	12.2
合	計	123	100.0

図 2-11-5 遺体安置の保管料金（6基以上施設）【設問 13】



表 2-14-1 保管料金（管内、時間当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
50 円 以下		1	11.1
51 ~ 100 円		4	44.4
101 ~ 200 円		2	22.2
201 ~ 300 円		1	11.1
301 円 以上		1	11.1
合 計		9	100.0
平均 159 円、最大 330 円			

図 2-12-1 保管料金（管内、時間当たり）（全国）【設問 13】

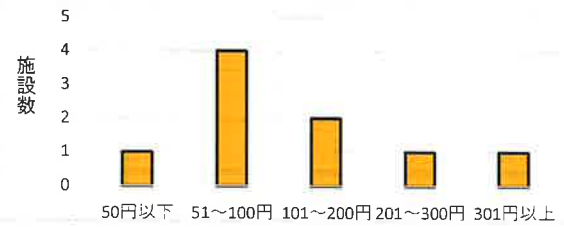


表 2-14-2 保管料金（管外、時間当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
200 円 以下		2	33.3
201 ~ 400 円		3	50.0
401 ~ 600 円		0	0.0
601 ~ 800 円		0	0.0
801 円 以上		1	16.7
合 計		6	100.0
平均 382 円、最大 830 円			

図 2-12-2 保管料金（管外、時間当たり）（全国）【設問 13】

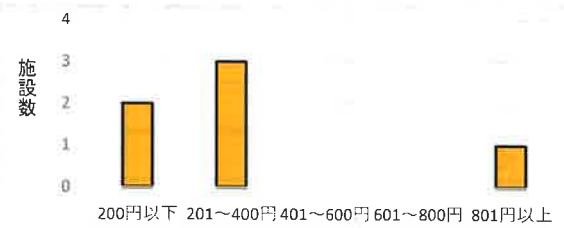


表 2-14-3 保管料金（管外/管内比、時間当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1 以下		0	0.0
1.1 ~ 2		3	50.0
2.1 ~ 3		2	33.3
3.1 以上		1	16.7
合 計		6	100.0
平均 2.5、最大 4.0			

図 2-12-3 保管料金（管外/管内比、時間当たり）（全国）【設問 13】

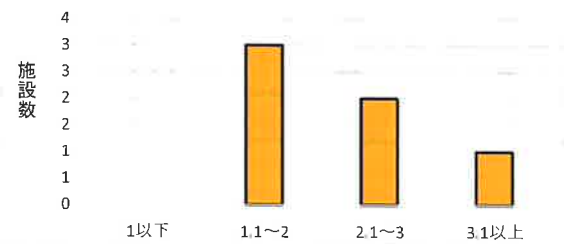


表 2-15-1 保管料金（管内、1日当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1,000 円 以下		35	21.0
1,001 ~ 3,000 円		65	38.9
3,001 ~ 5,000 円		42	25.1
5,001 ~ 10,000 円		20	12.0
10,001 円 以上		5	3.0
合計		167	100.0
平均 3,108 円、最大 11,000 円			

表 2-15-2 保管料金（管内、1日当たり）（東日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1,000 円 以下		20	20.8
1,001 ~ 3,000 円		42	43.8
3,001 ~ 5,000 円		20	20.8
5,001 ~ 10,000 円		13	13.5
10,001 円 以上		1	1.0
合計		96	100.0
平均 2,154 円、最大 11,000 円			

表 2-15-3 保管料金（管内、1日当たり）（西日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1,000 円 以下		15	15.6
1,001 ~ 3,000 円		33	34.4
3,001 ~ 5,000 円		22	22.9
5,001 ~ 10,000 円		7	7.3
10,001 円 以上		4	4.2
合計		81	84.4
平均 3,315 円、最大 11,000 円			

表 2-15-4 保管料金（管内、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1,000 円 以下		8	12.3
1,001 ~ 3,000 円		21	32.3
3,001 ~ 5,000 円		22	33.8
5,001 ~ 10,000 円		10	15.4
10,001 円 以上		4	6.2
合計		65	100.0
平均 3,868 円、最大 11,000 円			

表 2-15-5 保管料金（管内、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
1,000 円 以下		27	26.5
1,001 ~ 3,000 円		44	43.1
3,001 ~ 5,000 円		20	19.6
5,001 ~ 10,000 円		10	9.8
10,001 円 以上		1	1.0
合計		102	100.0
平均 2,623 円、最大 10,470 円			

図 2-13-1 保管料金（管内、1日当たり）（全国）【設問 13】

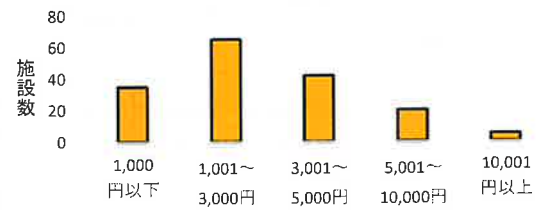


図 2-13-2 保管料金（管内、1日当たり）（東日本）【設問 13】

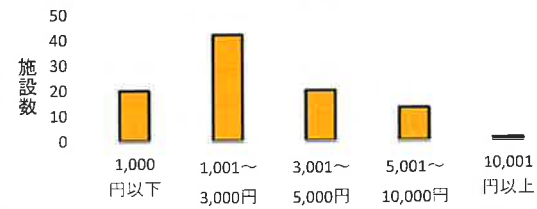


図 2-13-3 保管料金（管内、1日当たり）（西日本）【設問 13】

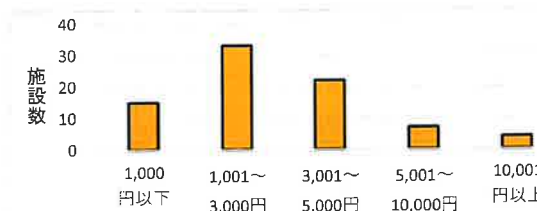


図 2-13-4 保管料金（管内、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

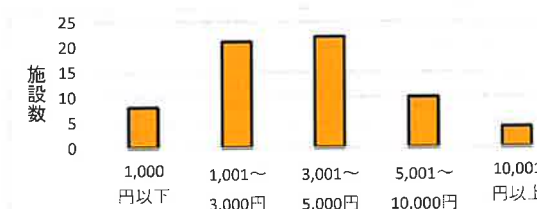


図 2-13-5 保管料金（管内、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】

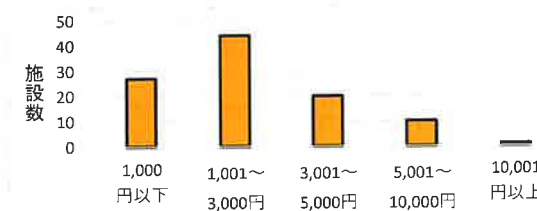


表 2-16-1 保管料金（管外、1日当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
5,000 円 以下		33	38.8
5,001 ~ 8,000 円		15	17.6
8,001 ~ 10,000 円		18	21.2
10,001~20,000円		14	16.5
20,001 円 以上		5	5.9
合 計		85	100.0
平均 8,019 円、最大 40,000 円			

図 2-14-1 保管料金（管外、1日当たり）（全国）【設問 13】

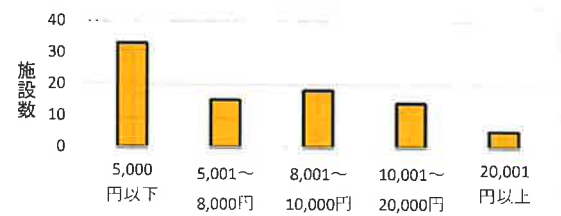


表 2-16-2 保管料金（管外、1日当たり）（東日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
5,000 円 以下		22	42.3
5,001 ~ 8,000 円		8	15.4
8,001 ~ 10,000 円		10	19.2
10,001~20,000円		11	21.2
20,001 円 以上		1	1.9
合 計		52	100.0
平均 7,194 円、最大 25,470 円			

図 2-14-2 保管料金（管外、1日当たり）（東日本）【設問 13】

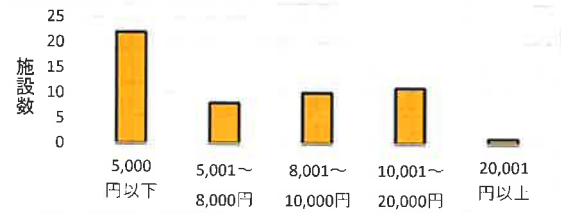


表 2-16-3 保管料金（管外、1日当たり）（西日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
5,000 円 以下		11	33.3
5,001 ~ 8,000 円		7	21.2
8,001 ~ 10,000 円		8	24.2
10,001~20,000円		3	9.1
20,001 円 以上		4	12.1
合 計		33	100.0
平均 9,320 円、最大 40,000 円			

図 2-14-3 保管料金（管外、1日当たり）（西日本）【設問 13】

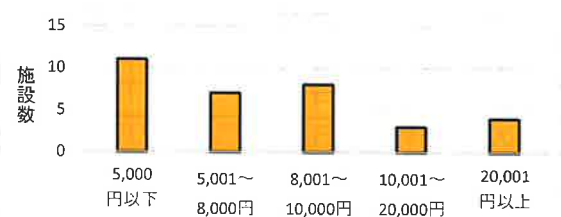


表 2-16-4 保管料金（管外、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
5,000 円 以下		8	25.0
5,001 ~ 8,000 円		8	25.0
8,001 ~ 10,000 円		9	28.1
10,001~20,000円		5	15.6
20,001 円 以上		2	6.3
合 計		32	100.0
平均 8,343 円、最大 25,000 円			

図 2-14-4 保管料金（管外、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

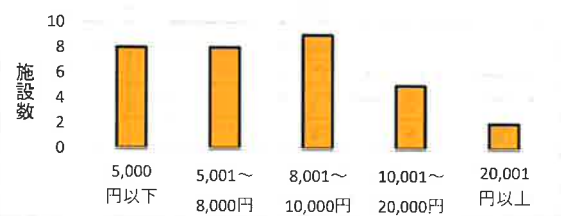


表 2-16-5 保管料金（管外、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
5,000 円 以下		25	47.2
5,001 ~ 8,000 円		7	13.2
8,001 ~ 10,000 円		9	17.0
10,001~20,000円		9	17.0
20,001 円 以上		3	5.7
合 計		53	100.0
平均 7,824 円、最大 40,000 円			

図 2-14-5 保管料金（管外、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】

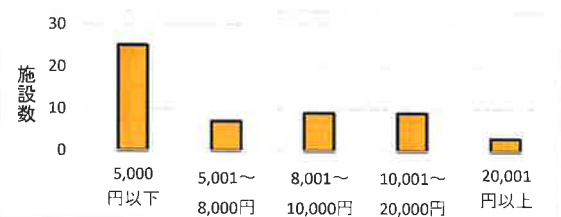


表 2-17-1 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（全国）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
	2 以下	36	48.6
	2.1～3	15	20.3
	3.1～4	13	17.6
	4.1～5	5	6.8
	5.1以上	5	6.8
	合計	74	100.0
平均 2.86、最大 7.22			

表 2-17-2 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（東日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
	2 以下	26	55.3
	2.1～3	11	23.4
	3.1～4	5	10.6
	4.1～5	3	6.4
	5.1以上	2	4.3
	合計	47	100.0
平均 2.58、最大 5.33			

表 2-17-3 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（西日本）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
	2 以下	10	37.0
	2.1～3	4	14.8
	3.1～4	8	29.6
	4.1～5	2	7.4
	5.1以上	3	11.1
	合計	27	100.0
平均 3.36、最大 7.22			

表 2-17-4 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
	2 以下	15	60.0
	2.1～3	5	20.0
	3.1～4	4	16.0
	4.1～5	0	0.0
	5.1以上	1	4.0
	合計	25	100.0
平均 2.63、最大 7.22			

表 2-17-5 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】

区分	項目	施設数	構成比%
	2 以下	21	42.9
	2.1～3	10	20.4
	3.1～4	9	18.4
	4.1～5	5	10.2
	5.1以上	4	8.2
	合計	49	100.0
平均 2.98、最大 7.22			

図 2-15-1 保管料金（管外、1日当たり）（全国）【設問 13】

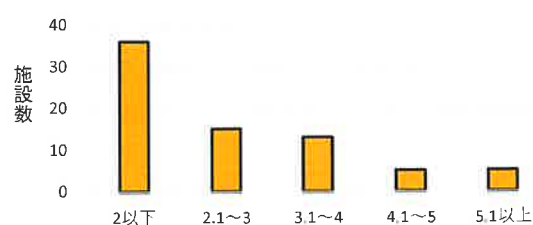


図 2-15-2 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（東日本）【設問 13】

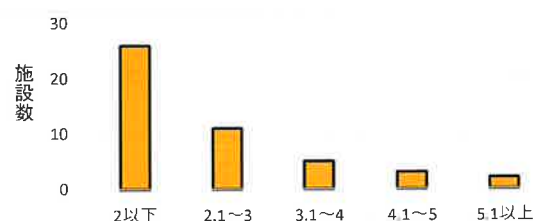


図 2-15-3 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（西日本）【設問 13】

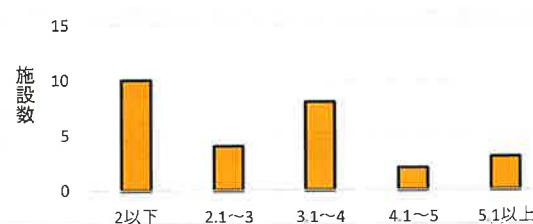


図 2-15-4 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（4基又は5基施設）【設問 13】

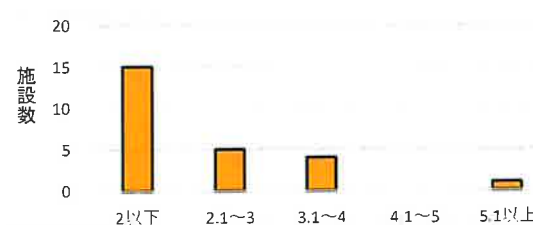
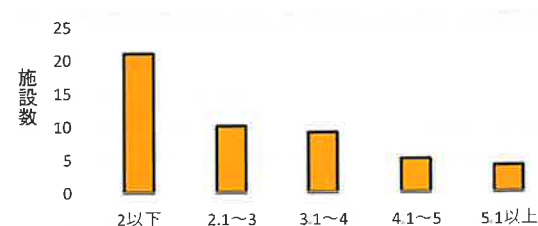


図 2-15-5 保管料金（管外/管内比、1日当たり）（6基以上施設）【設問 13】



1-2-3. 遺体安置の受け入れ条件

遺体安置を受け入れる際の条件については、「遺体を棺に収納」が174施設(53.4%)、「棺の大きさ」が140施設(42.9%)、「利用者制限の厳守」が112施設(34.4%)、「受入時間帯の厳守」が112施設(34.4%)「安置期間が明らか」が77施設(23.6%)となっている。

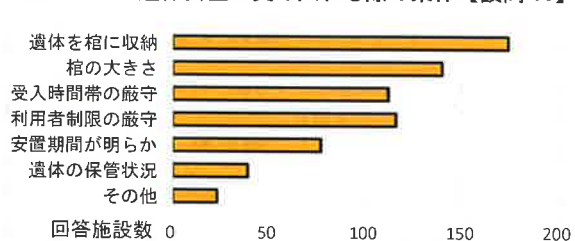
1-2-4. 遺体安置の管理上の基準(衛生基準)

遺体安置の管理上の基準については、「室(装置)内の温度」が112施設(34.4%)、「故人名の貼り付け」が83施設(25.5%)、「面会の制限の厳守」が66施設(20.2%)となっている。「室(装置)内の温度」については、平均が2.8℃(-15~28℃)であり、2.1~5℃が52施設(47.3%)と多くを占めている。「室(装置)内の消毒、清掃等の衛生基準」については、いずれも使用後で、清掃が16件、消毒が9件、アルコール消毒が7件、オゾン消毒が4件、他各2件で消臭剤使用、殺菌灯使用、換気となっている。

表2-18 遺体安置の受け入れる際の条件【設問16】

区分	項目	施設数	構成比%
	遺体を棺に収納	174	53.4
	棺の大きさ	140	42.9
	受入時間帯の厳守	112	34.4
	利用者制限の厳守	116	35.6
	安置期間が明らか	77	23.6
	遺体の保管状況	39	12.0
	その他	23	7.1
	回答施設数	326	100.0

図2-16 遺体安置の受け入れる際の条件【設問16】



その他：死後24時間未経過4件

特に条件なし3件

一般の受入は行っておらず、市の事業での利用のみ

緊急時に市が一時的に保管するものであり、貸し出しは行っていないため条件はない

あまり例がないため安置の必要があるときは火葬が円滑に行われるよう柔軟に対応している

友引の受入可、面会不可

保冷库への入庫は業者による

遺体の搬入・搬出は霊安室専用の出入り口からとすること

行政からの依頼であること

コロナ遺体は不可

市営葬儀(火葬のみ)の申込、かつ、安置場所がない時に受け入れている

葬儀社の申請、感染症の遺体でないこと、コロナに係るガイドラインに基づく

表 2-19 遺体安置の管理上の基準【設問 17】

区分	項目	施設数	構成比%
	室(装置)内の温度	112	34.4
	棺内の保冷剤除去	27	8.3
	保冷剤等で棺内冷却	14	4.3
	室(装置)内の衛生基準	42	12.9
	作業者の衛生基準	13	4.0
	故人名の貼り付け	83	25.5
	面会の制限の順守	66	20.2
	その他	24	7.4
	回答施設数	326	100.0

図 2-17 遺体安置の管理上の基準【設問 17】

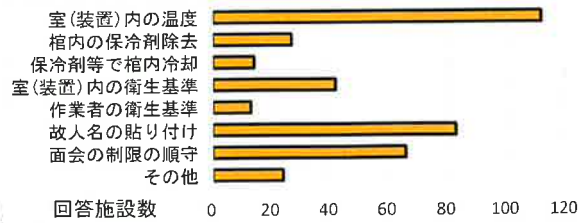


表 2-20 遺体安置室(装置)内の設定温度【設問 17-1】

区分	項目	施設数	構成比%
	0℃以下	32	29.1
	0.1～2℃	11	10.0
	2.1～5℃	52	47.3
	5.1～10℃	10	9.1
	10.1℃以上	5	4.5
	合計	110	100.0
平均 2.80℃、最高 28℃、最低 -15℃			

図 2-18 遺体安置室(装置)内の設定温度【設問 17-1】

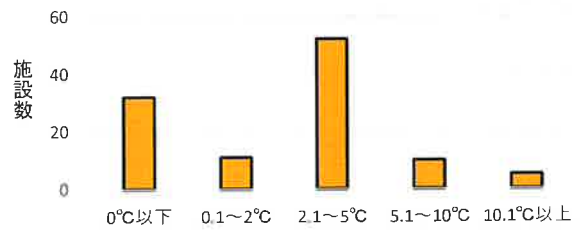


表2-21 遺体安置室（装置）内の消毒、清掃等衛生基準【設問17-4】

名 称	都道府県	具 体 的 な 方 法
伏古斎苑	北海道	アルコールを噴霧
仙台市葛岡斎場	宮城県	殺菌灯の使用及び使用後の清拭
石岡地斎場火葬場	茨城県	消臭剤及びアルコール等
佐野斎場	栃木県	モップで拭き掃除
しおや聖苑	栃木県	オゾン殺菌装置による殺菌
小山聖苑	栃木県	清掃
高崎市斎場	群馬県	ご利用後の清掃と内部消毒
川越市斎場	埼玉県	オゾン発生装置（日に8回）、月一回噴霧除菌・消臭
山桑メモリアルホール	千葉県	使用後の消毒、清掃
印西斎場	千葉県	清掃
小田原市斎場	神奈川県	オゾン洗浄
相模原市営斎場	神奈川県	コロナ遺体利用後の消毒、月1回程度の場内清掃
逗子市小坪誠行社火葬場	神奈川県	周期的に拭き掃除とアルコール消毒
東山梨行政事務組合東山聖苑	山梨県	使用後にアルコール消毒
可茂聖苑	岐阜県	アルコール消毒
富士宮聖苑	静岡県	消毒、換気
三島西南広域行政組合立みしま聖苑	静岡県	年3回消毒作業
西尾市斎場やすらぎ苑	愛知県	オゾン脱臭装置設置
名古屋市立第二斎場	愛知県	使用後に保冷庫の機能の殺菌灯を使用
豊田市古瀬間聖苑	愛知県	利用後に機械の除菌機能をつかう
四日市市北大谷斎場	三重県	使用後の換気と清掃等
桑名市斎場「おりづるの森」	三重県	水、アルコールにて拭き掃除
宇治市斎場	京都府	安置室内の清掃
箕面市立聖苑	大阪府	安置トレーを使用したときは消毒の実施
鳥取県西部広域行政管理組合桜の苑	鳥取県	水雑布による清拭のみ
総社市営斎場	岡山県	左記が不要なものに限る
福山市中央斎場、西部斎場	広島県	使用後の状態により清掃
岩国斎場	山口県	月に2回くらい
伊予地区広域火葬場聖浄苑	愛媛県	定期的な清掃の実施
大牟田市葬斎場	福岡県	アルコール消毒
鳥栖市斎場	佐賀県	受入ごとに消毒する
別杵速見地域広域市町村圏事務組合「秋草葬斎場」	大分県	庫内の定期清掃
都城市斎場	宮崎県	通常の消毒、清掃

表2-22 防護服や手袋の着用等、ご遺体を取り扱う作業者の衛生基準【設問17-5】

名 称	都道府県	具 体 的 な 方 法
石岡地斎場火葬場	茨城県	手袋着用
佐野斎場	栃木県	白手袋着用
いせさき聖苑	群馬県	手袋着用
山桑メモリアルホール	千葉県	手袋着用
印西斎場	千葉県	手袋の着用
小田原市斎場	神奈川県	コロナ死亡者には手袋着用
可茂聖苑	岐阜県	手袋着用
豊田市古瀬間聖苑	愛知県	手袋
宇治市斎場	京都府	葬祭業者が基準を持っている
大牟田市葬斎場	福岡県	マスク、手袋の着用

表2-23 その他【設問17-8】

名 称	都道府県	具 体 的 な 方 法
釣山斎苑、千厩斎苑	岩手県	新型コロナウイルス感染により亡くなられた方でないこと
山武郡市広域行政組合	千葉県	液体等の漏出がないこと、検死等のため、遺体を棺から出さないこと、遺体の管理は申請市町で責任を持つこと
射水市斎場	富山県	面会は不可
松代斎場	長野県	利用証発行
大峰斎場	長野県	利用証発行
可茂聖苑	岐阜県	御遺体の受入時間（8:30～16:00）
亀山市斎場	三重県	非常時の対応用であり使用していない
稲美斎場ひじり苑	兵庫県	冷蔵機能の故障により保冷剤等で棺内を冷やしている
赤穂市斎場	兵庫県	コロナ感染で亡くなられた方の場合には使用不可
和歌山斎場	和歌山県	安置依頼者以外の遺体冷蔵庫の開庫不可
益田市斎場 松聖苑	島根県	面会時間は業務時間のみ
福山市中央斎場、西部斎場	広島県	温度設定ができないため、4月上旬～10月上旬に冷房運転をする
ひがしひろしま聖苑	広島県	その日のうちに消毒

1-2-5. 遺体安置設備の整備

- (1) 遺体安置の設置時期については、「稼働当初から」が 201 施設 (90.1%) とほとんどを占めている。
- (2) 現在遺体安置機能を持っている火葬場の今後の整備予定は、「整備予定なし」が 205 施設 (94.0%) とほとんどを占めているが、「増設を予定」が 6 施設 (2.8%)、「増設を検討中」が 7 施設 (3.2%) となっている。
- (3) 現在遺体安置機能を持っていない火葬場の今後の整備予定は、「整備予定なし」が 89 施設 (91.8%) とほとんどであり、「整備を検討中」が 3 施設 (3.1%) と少なく、「数年内に整備を予定」は 0 施設である。

表 2-24-1 遺体安置の設置時期【設問 14】

区分	項目	施設数	構成比%
	稼働当初から	201	90.1
	稼働後に設置	12	5.4
	その他	10	4.5
	合計	223	100.0

その他：特に記載なし

図 2-19 遺体安置の設置時期【設問 14】

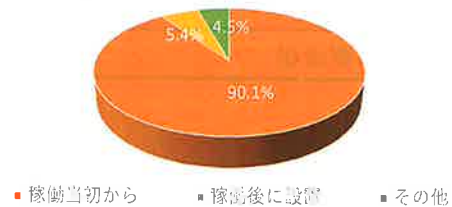


表 2-24-2 設問 14 の 2 (稼働後に設置) に回答した火葬場

名 称	都道府県	稼働開始年	装置設置年	稼働後経過年数
太田市斎場	群馬県	1981	1983	2
行田市斎場	埼玉県	1978	2015	37
三郷市斎場	埼玉県	1978	2019	41
東京都瑞江葬儀所	東京都	1975	2022	47
小千谷市西山斎場	新潟県	1985	2021	36
多治見市火葬場華立やすらぎの杜	岐阜県	2016	2019	3
御殿場市小山町広域行政組合斎場	静岡県	1980	2010	30
福知山市斎場	京都府	1996	2007	11
豊中市立斎場	大阪府	1946	2007	61
総社市営斎場	岡山県	1986	1988	2
杵藤葬斎公園	福岡県	1975	1979	4
鳥栖市斎場	佐賀県	1990	1995	5
平均				23.3
最大				61
最小				2

表 2-25 遺体安置の今後の整備予定【設問 15】
(現在遺体安置機能を持っている火葬場)

区分	項目	施設数	構成比%
	増設を予定	6	2.8
	増設を検討中	7	3.2
	整備予定なし	205	94.0
	合計	218	100.0

増設予定：千葉県浦安斎場 6 体分

表 2-26 遺体安置の今後の整備予定【設問 18】
(現在遺体安置機能を持っていない火葬場)

区分	項目	施設数	構成比%
	数年内に整備を予定	0	0.0
	整備を検討中	3	3.1
	整備予定なし	89	91.8
	その他	5	5.2
	合計	97	100.0

図 2-20 遺体安置の今後の整備予定【設問 15】
(現在遺体安置機能を持っている火葬場)



図 2-21 遺体安置の今後の整備予定【設問 18】
(現在遺体安置機能を持っていない火葬場)



1-3. 「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」(令和2年7月29日付け厚労省・経産省)の運用状況について【設問10】

ガイドラインについては以下のとおりである。なお、本アンケートにおける設問10のガイドラインとは、累次の改定がされているが、改定前のものを前提としている点に留意されたい。

- (1) ガイドラインの「2-7 火葬」に基づいた処理については、全回答数316に対して「行われている」が234(74.1%)、「概ね行われている」が75(23.7%)、「行われていない」が7(2.2%)、「知らなかった」が0(0.0%)であり、「行われている」「概ね行われている」で309(97.8%)を占めている。
- (2) 「2-8 拾骨」に基づいた処理については、全回答数316に対して「行われている」が230(72.8%)、「概ね行われている」が71(22.5%)、「行われていない」が15(4.7%)、「知らなかった」が0(0.0%)であり、これも「行われている」「概ね行われている」で301(95.3%)を占めている。
- (3) ご遺体が棺に収納されずに火葬場に搬入された場合の納体袋の取扱いについて、ガイドラインに基づいた処理については、全回答数296に対して「行われている」が224(75.7%)、「概ね行われている」が47(15.9%)、「行われていない」が17(5.7%)、「知らなかった」が8(2.7%)であり、これも「行われている」「概ね行われている」で271(91.6%)を占めている。
- (4) 「情報共有シート」の利用については、「利用している」が71(22.5%)、「概ね利用している」が25(7.9%)、「利用していない」が208(66.0%)、「知らなかった」が11(3.5%)であり、「利用していない」が最も多く、「利用している」「概ね利用している」96(30.4%)を上回っている。
- (5) 今回の対象とした火葬場は、ほとんど市町村か一部事務組合による公的施設であり、厚労省・経産省が発出したガイドラインに対して入手、理解し、火葬作業に生かされていると判断する。しかし、情報共有シートについては、あまり利用されていないという印象である。

表3-1 ガイドラインの火葬について【設問10-1】

区分	項目	「2-7 火葬」に基づいた処理は？	
		回答数	構成比%
	行われている	234	74.1
	概ね行われている	75	23.7
	行われていない	7	2.2
	知らなかった	0	0.0
	合計	316	100.0

図3-1 ガイドラインの火葬について【設問10-1】

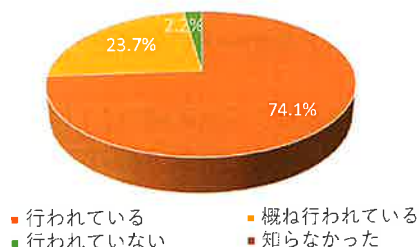


表3-2 ガイドラインの拾骨について【設問10-2】

区分	項目	「2-8 拾骨」に基づいた処理は？	
		回答数	構成比%
	行われている	230	72.8
	概ね行われている	71	22.5
	行われていない	15	4.7
	知らなかった	0	0.0
	合計	316	100.0

図3-2 ガイドラインの拾骨について【設問10-2】

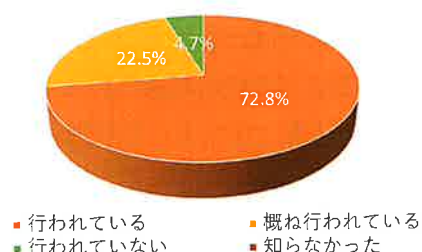


表3-3 ガイドラインの納体袋について【設問10-3】

区分	項目	納体袋の取扱いについて、ガイドラインに基づいた処理は？	
		回答数	構成比%
	行われている	224	75.7
	概ね行われている	47	15.9
	行われていない	17	5.7
	知らなかった	8	2.7
	合計	296	100.0

図3-3 ガイドラインの納体袋について【設問10-3】

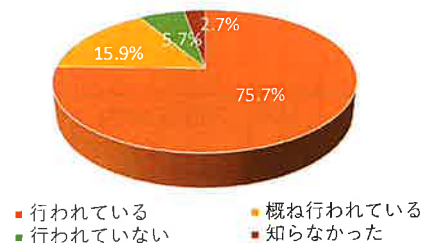
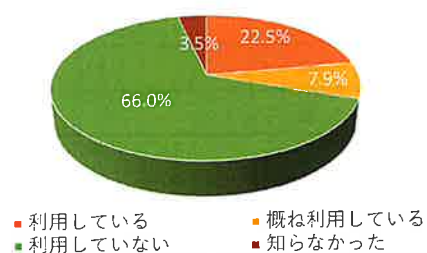


表3-4 情報共有シートについて【設問10-4】

区分	項目	「情報共有シート」についての利用は？	
		回答数	構成比%
	利用している	71	22.5
	概ね利用している	25	7.9
	利用していない	208	66.0
	知らなかった	11	3.5
	合計	315	100.0

図3-4 情報共有シートについて【設問10-4】



1-4. 火葬場の状況について

1-4-1. 本アンケートの対象とした火葬場の概要

- (1) 対象火葬場は、行政区域内人口が平均 291,877 人（範囲 21,008～13,980,000 人）であり、死亡者数が平均 3,007 人（範囲 240～120,000 人）、死亡率が平均 1.22%（範囲 0.56～3.27%）、火葬率が平均 100.00%（範囲 99.88～100%）である。人口、死亡者数はかなりばらつきが大きく、死亡率が多少ばらついているが、火葬率はほぼ 100%である。

行政区域内人口は、20 万人以下が 199 施設（68.3%）と非常に多く、600,001 人以上は 19 施設（6.5%）と少ない。

- (2) 行政区域内の火葬場数は平均 1.29 施設（範囲 1～5 施設）である。火葬場で稼働する火葬炉基数は平均 7.15 基（範囲 4～46 基）であり、火葬炉 1 基当たりの人口を算出すると、平均 32,454 人（範囲 4,498～699,000 人）であり、ばらつきが大きい。

- (3) 対象施設の建設後の経過年数は平均 26.8 年（範囲 0～105 年）であり、21～40 年が 166 施設（50.9%）となっている。地域別に見ると、東日本が平均 24.8 年（範囲 0～60 年）、西日本が平均 29.3 年（範囲 0～105 年）であり、特に東日本の 10 年以下の比較的新しい施設が 35 施設と多く、対象施設の 19.4%を占めている。

規模別に見ると、4 基又は 5 基施設が平均 27.0 年（範囲 0～87 年）、6 基以上施設が平均 26.6 年（範囲 0～105 年）であり、特に 6 基以上施設の 10 年以下の比較的新しい施設が 31 施設と多く、対象施設の 18.7%を占めている。

表 4-1 対象施設の埋火葬の状況【設問 1～3】

項目 \ 区分	行政区域内人口	死亡者数	死亡率%	火葬数	火葬率%
データ数	291	254	253	254	254
平均	291,877	3,007	1.22	3,007	100.00
最大	13,980,000	120,000	3.27	120,000	100
最小	21,008	240	0.56	240	99.88
項目 \ 区分	埋葬数	施設数	火葬炉基数	火葬炉 1 基当たりの人口	
データ数	254	326	326	291	
平均	0.06	1.29	7.15	32,454	
最大	4	5	46	699,000	
最小	0	1	4	4,498	

表 4-2 行政区域内人口の分布【設問 1】

区分	項目	施設数	構成比%
	10万人以下	111	38.1
	100,001~20万人	88	30.2
	200,001~30万人	38	13.1
	300,001~40万人	19	6.5
	400,001~60万人	16	5.5
	600,001人以上	19	6.5
	合計	291	100.0

図 4-1 行政区域内人口の分布【設問 1】

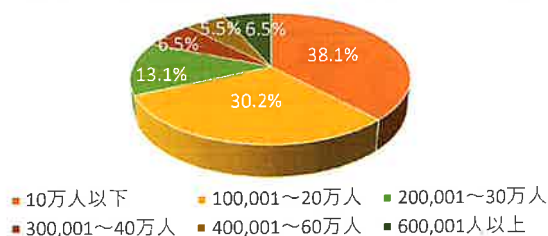


表 4-3-1 対象施設の建設後の経過年数（地域別）【設問 5】

項目	区分	全 国		東 日 本		西 日 本	
		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
経過年数 (年)	データ数	326		180		146	
	平均	26.8		24.8		29.3	
	最大	105		60		105	
	最小	0		0		0	
経過年数 ごとの 施設数		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
	10年以下	53	16.3	35	19.4	18	12.3
	11~20年	57	17.5	31	17.2	26	17.8
	21~30年	87	26.7	49	27.2	38	26.0
	31~40年	79	24.2	38	21.1	41	28.1
	41~50年	35	10.7	23	12.8	12	8.2
	51年以上	15	4.6	4	2.2	11	7.5
	合計	326	100.0	180	100.0	146	100.0

図 4-2-1 対象施設の建設後の経過年数の分布（地域別）【設問 5】

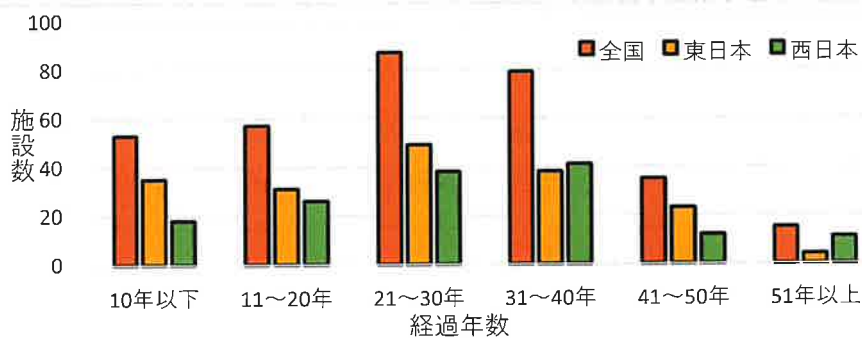
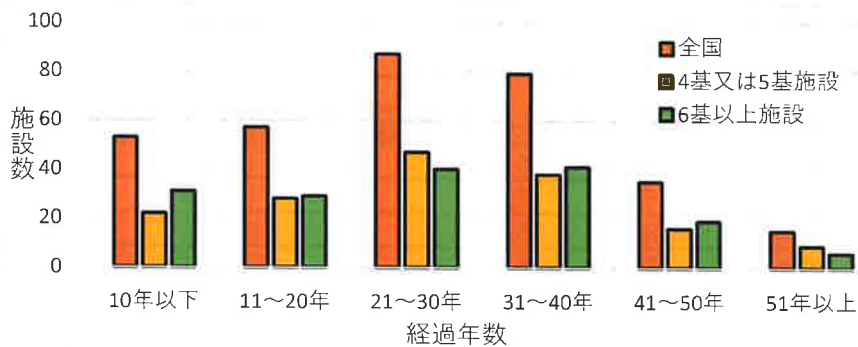


表 4-3-2 対象施設の建設後の経過年数（規模別）【設問 5】

項目	区分	全 国		4基又は5基施設		6 基 以 上 施 設	
		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
経過年数 (年)	データ数	326		160		166	
	平均	26.8		27.0		26.6	
	最大	105		87		105	
	最小	0		0		0	
経過年数 ごとの 施設数		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
	10年以下	53	16.3	22	13.8	31	18.7
	11～20年	57	17.5	28	17.5	29	17.5
	21～30年	87	26.7	47	29.4	40	24.1
	31～40年	79	24.2	38	23.8	41	24.7
	41～50年	35	10.7	16	10.0	19	11.4
	51年以上	15	4.6	9	5.6	6	3.6
	合計	326	100.0	160	100.0	166	100.0

図 4-2-2 対象施設の建設後の経過年数の分布（規模別）【設問 5】



1-4-2. 対象火葬場の火葬炉について

人体炉の基数は、平均 7.1 基（範囲 4～46 基）であり、4 基が最も多く、106 施設（全体の 32.5%）、次いで 5 基 54 施設（16.6%）である。4 基と 5 基施設で 160 施設（49.1%）。6 基以上の施設で 166 施設（50.9%）である。東日本と西日本を比較すると、大きな違いはない。

そのうち大型炉を設置した施設は 149 施設（全体の 45.7%）であり、大型炉の基数は平均 4.1 基（範囲 1～16 基）、1 基が最も多く 45 施設（大型炉設置施設の 30.2%）、1 基と 2 基施設で 70 施設（大型炉設置施設の 49.0%）である。東日本と西日本を比較すると、西日本に設置施設の割合が多い（西日本の 53.4%、東日本は 39.4%）。

表4-4-1 対象施設の人体炉、大型炉の基数（全国）【設問6】

項目	全			国			国		
	人体炉基数（基）			うち大型炉基数（基）			大型炉の基数割合（％）		
データ数	326			149			326		
平均	7.1			4.1			26.3		
最大	46			16			100		
最小	4			1			0		
基数の分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	4	106	32.5	1	45	30.2	0	177	54.3
	5	54	16.6	2	25	16.8	1~10	14	4.3
	6	47	14.4	3~4	26	17.4	11~20	27	8.3
	7~8	46	14.1	5~6	25	16.8	21~30	24	7.4
	9~12	51	15.6	7~8	11	7.4	31~50	14	4.3
	13以上	22	6.7	9以上	17	11.4	51以上	70	21.5
	合計	326	100.0	合計	149	100.0	合計	326	100.0

表4-4-2 対象施設の人体炉、大型炉の基数（東日本）【設問6】

項目	東			日			本		
	人体炉基数（基）			うち大型炉基数（基）			大型炉の基数割合（％）		
データ数	180			71			180		
平均	7.2			3.9			21.6		
最大	46			13			100		
最小	4			1			0		
基数の分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	4	58	32.2	1	20	28.2	0	109	60.6
	5	30	16.7	2	17	23.9	1~10	6	3.3
	6	30	16.7	3~4	12	16.9	11~20	14	7.8
	7~8	21	11.7	5~6	9	12.7	21~30	11	6.1
	9~12	28	15.6	7~8	5	7.0	31~50	11	6.1
	13以上	13	7.2	9以上	8	11.3	51以上	29	16.1
	合計	180	100.0	合計	71	100.0	合計	180	100.0

表4-4-3 対象施設の人体炉、大型炉の基数（西日本）【設問6】

項目	西			日			本		
	人体炉基数（基）			うち大型炉基数（基）			大型炉の基数割合（％）		
データ数	146			78			146		
平均	7.1			4.4			32.1		
最大	30			16			100		
最小	4			1			0		
基数の分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	4	48	32.9	1	25	32.1	0	68	46.6
	5	24	16.4	2	8	10.3	1~10	8	5.5
	6	17	11.6	3~4	14	17.9	11~20	13	8.9
	7~8	25	17.1	5~6	16	20.5	21~30	13	8.9
	9~12	23	15.8	7~8	6	7.7	31~50	3	2.1
	13以上	9	6.2	9以上	9	11.5	51以上	41	28.1
	合計	146	100.0	合計	78	100.0	合計	146	100.0

図4-3-1 人体炉基数の分布【設問6】

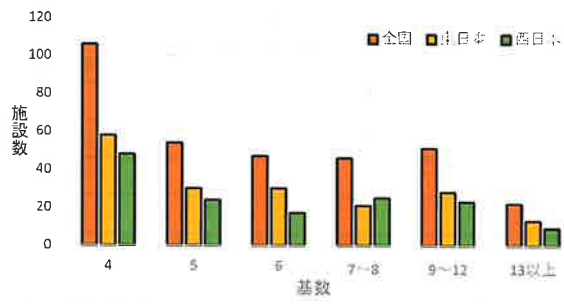


図4-3-2 人体炉大型炉基数の分布【設問6】

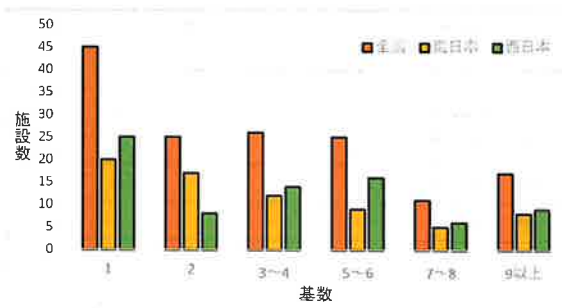


図4-3-3 大型炉基数割合の分布【設問6】

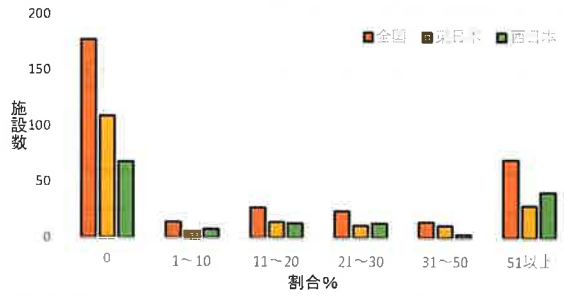


表4-4-4 対象施設の人体炉、大型炉の基数（4基又は5基施設）【設問6】

項目	人体炉4基又は5基施設								
	人体炉基数(基)			うち大型炉基数(基)			大型炉の基数割合(%)		
データ数	160			57			160		
平均	4.3			2.8			22.5		
最大	5			5			100		
最小	4			1			0		
基数の分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	4	106	66.3	1	22	38.6	0	103	64.4
	5	54	33.8	2	7	12.3	1~10	0	0.0
	6	0	0.0	3~4	19	33.3	11~20	3	1.9
	7~8	0	0.0	5	9	15.8	21~30	19	11.9
	9~12	0	0.0		0	0.0	31~50	7	4.4
	13以上	0	0.0		0	0.0	51以上	28	17.5
	合計	160	100.0	合計	57	100.0	合計	160	100.0

表4-4-5 対象施設の人体炉、大型炉の基数（6基以上施設）【設問6】

項目	人体炉6基以上施設								
	人体炉基数(基)			うち大型炉基数(基)			大型炉の基数割合(%)		
データ数	166			92			166		
平均	9.9			5.0			29.9		
最大	46			16			100		
最小	6			1			0		
基数の分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	4	0	0.0	1	23	25.0	0	74	44.6
	5	0	0.0	2	18	19.6	1~10	14	8.4
	6	47	28.3	3~4	7	7.6	11~20	24	14.5
	7~8	46	27.7	5~6	16	17.4	21~30	5	3.0
	9~12	51	30.7	7~8	11	12.0	31~50	7	4.2
	13以上	22	13.3	9以上	17	18.5	51以上	42	25.3
	合計	166	100.0	合計	92	100.0	合計	166	100.0

図4-4-4 規模別の大型炉の分布【設問6】

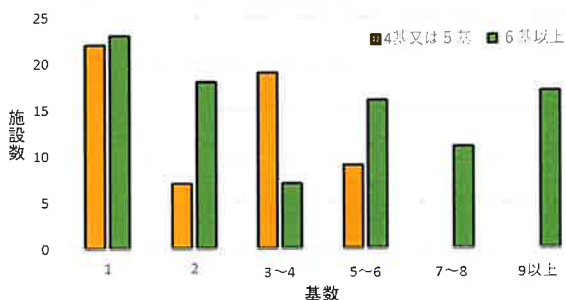
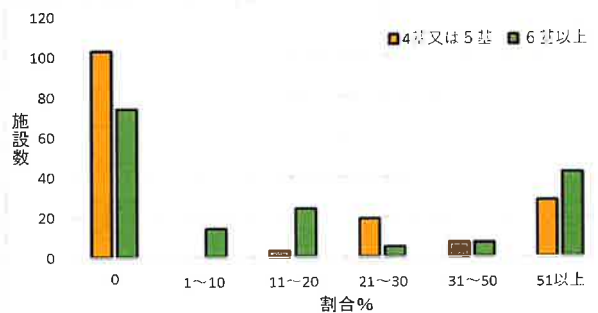


図4-4-5 規模別の大型炉基数割合の分布【設問6】



1-4-3. 動物炉、汚物炉について

対象施設で動物炉を設置した施設は 107 施設（全体の 32.8%）であり、動物炉の基数は平均 1.07 基（範囲 1～3 基）、1 基が 101 施設（動物炉設置施設の 94.4%）でほとんどである。

対象施設で汚物炉を設置した施設は 124 施設（全体の 38.0%）であり、汚物炉の基数は平均 1.03 基（範囲 1～2 基）、1 基が 124 施設（汚物炉設置施設の 96.8%）でほとんどである。汚物炉の用途は、産褥汚物が 100 施設（汚物炉設置施設の 80.6%）、身体の一部が 89 施設（同 71.8%）である。

表 4-5-1 対象施設の動物炉、汚物炉の基数（全国）【設問 6】

項目	全			国		
	動物炉基数			汚物炉基数		
データ数	107			124		
平均	1.07			1.03		
最大	3			2		
最小	1			1		
分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%
	1	101	94.4	1	120	96.8
	2	5	4.7	2	4	3.2
	3	1	0.9			
	合計	107	100.0	合計	124	100.0

表 4-5-2 対象施設の動物炉、汚物炉の基数（東日本）【設問 6】

項目	東			日			本		
	動物炉基数			汚物炉基数					
データ数	68			64					
平均	1.10			1.05					
最大	3			2					
最小	1			1					
分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%			
	1	62	91.2	1	61	95.3			
	2	5	7.4	2	3	4.7			
	3	1	1.5						
	合計	68	100.0	合計	64	100.0			

表 4-5-3 対象施設の動物炉、汚物炉の基数（西日本）【設問 6】

項目	西			日			本		
	動物炉基数			汚物炉基数					
データ数	39			60					
平均	1.00			1.02					
最大	1			2					
最小	1			1					
分布	区分	施設数	構成比%	区分	施設数	構成比%			
	1	39	100.0	1	59	98.3			
	2	0	0.0	2	1	1.7			
	3	0	0.0						
	合計	39	100.0	合計	60	100.0			

図 4-5-1 地域別の動物炉の分布【設問 6】

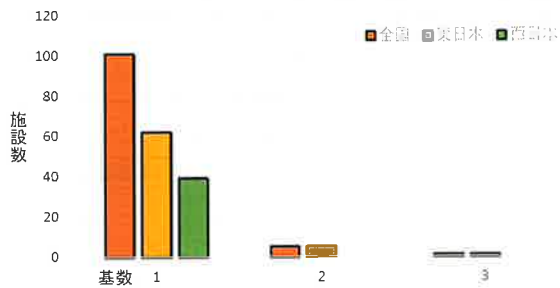


図 4-5-2 地域別の汚物炉の分布【設問 6】

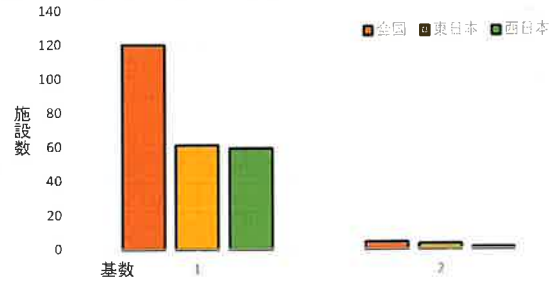


表 4-5-4 汚物炉の用途【設問 6】

汚 物 炉 の 用 途			
用 途	産褥汚物	身体の一部	その他
データ数	100	89	8
内 訳	動物炉で火葬 : 2件	/	改葬3件
			死胎2件
			動物1件

1-4-4. 受け入れる棺の許容サイズ

対象施設の棺の許容サイズは、長さが平均 2,048 mm (範囲 1,800~2,470 mm)、幅が平均 635 mm (範囲 480~851 mm)、高さが平均 541 mm (範囲 400~870 mm)、容量が平均 0.713m³ (範囲 0.380~1.732 m³) である。

大型炉を設置した施設の棺の許容サイズは、長さが平均 2,067 mm (範囲 1,800~2,470 mm)、幅が平均 645 mm (範囲 500~851 mm)、高さが平均 554 mm (範囲 400~870 mm)、容量が平均 0.748m³ (範囲 0.411~1.732m³) である。大型炉設置施設の方が長さ、幅、高さ及び容量のすべてでやや大きくなっている。

表 4-6-1 対象施設の棺の許容サイズ【設問 6】

区分 項目	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量m ³		
	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
データ数	309			303			304			303		
平均	2,048			635			541			1		
最大	2,470			851			870			2		
最小	1,800			480			400			0		
分 布	1,900以下	31	10.0	500以下	4	1.3	450以下	36	11.8	0.55未満	18	5.9
	1,901~2,000	143	46.3	501~550	20	6.6	451~500	116	38.2	0.55~0.64	79	26.1
	2,001~2,100	80	25.9	551~600	81	26.7	501~550	44	14.5	0.65~0.74	75	24.8
	2,101~2,200	31	10.0	601~650	126	41.6	551~600	62	20.4	0.75~0.84	48	15.8
	2,201~2,300	18	5.8	651~700	60	19.8	601~650	38	12.5	0.85~0.94	40	13.2
	2,301以上	6	1.9	701以上	12	4.0	651以上	8	2.6	0.95以上	43	14.2
	合計	309	100.0	合計	303	100.0	合計	304	100.0	合計	303	100.0

表 4-6-2 大型炉設置施設の棺の許容サイズ【設問6】

区分 項目	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量 ^m ³		
データ数	139			138			139			138		
平均	2,067			645			554			1		
最大	2,470			851			870			2		
最小	1,800			500			400			0		
分 布	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%
	1,900以下	14	10.1	500以下	2	1.4	450以下	12	8.6	0.55未満	5	3.6
	1,901~2,000	53	38.1	501~550	7	5.1	451~500	45	32.4	0.55~0.64	26	18.8
	2,001~2,100	40	28.8	551~600	29	21.0	501~550	21	15.1	0.65~0.74	35	25.4
	2,101~2,200	17	12.2	601~650	56	40.6	551~600	37	26.6	0.75~0.84	24	17.4
	2,201~2,300	10	7.2	651~700	37	26.8	601~650	19	13.7	0.85~0.94	21	15.2
	2,301以上	5	3.6	701以上	7	5.1	651以上	5	3.6	0.95以上	27	19.6
合 計	139	100.0	合 計	138	100.0	合 計	139	100.0	合 計	138	100.0	

表 4-6-3 東日本の棺の許容サイズ【設問6】

区分 項目	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量 ^m ³		
データ数	171			167			167			167		
平均	2,069			645			544			1		
最大	2,470			800			800			1		
最小	1,800			500			400			0		
分 布	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%
	1,900以下	6	3.5	500以下	1	0.6	450以下	18	10.8	0.55未満	4	2.4
	1,901~2,000	81	47.4	501~550	4	2.4	451~500	60	35.9	0.55~0.64	35	21.0
	2,001~2,100	44	25.7	551~600	36	21.6	501~550	25	15.0	0.65~0.74	49	29.3
	2,101~2,200	24	14.0	601~650	79	47.3	551~600	38	22.8	0.75~0.84	25	15.0
	2,201~2,300	12	7.0	651~700	42	25.1	601~650	22	13.2	0.85~0.94	25	15.0
	2,301以上	4	2.3	701以上	5	3.0	651以上	4	2.4	0.95以上	29	17.4
合 計	171	100.0	合 計	167	100.0	合 計	167	100.0	合 計	167	100.0	

表 4-6-4 西日本の棺の許容サイズ【設問6】

区分 項目	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量 ^m ³		
データ数	138			136			137			136		
平均	2,021			624			535			1		
最大	2,380			851			870			2		
最小	1,800			480			400			0		
分 布	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%	分 布	施設数	構成比%
	1,900以下	25	18.1	500以下	3	2.2	450以下	18	13.1	0.55未満	14	10.3
	1,901~2,000	62	44.9	501~550	16	11.8	451~500	56	40.9	0.55~0.64	44	32.4
	2,001~2,100	36	26.1	551~600	45	33.1	501~550	19	13.9	0.65~0.74	26	19.1
	2,101~2,200	7	5.1	601~650	47	34.6	551~600	24	17.5	0.75~0.84	23	16.9
	2,201~2,300	6	4.3	651~700	18	13.2	601~650	16	11.7	0.85~0.94	15	11.0
	2,301以上	2	1.4	701以上	7	5.1	651以上	4	2.9	0.95以上	14	10.3
合 計	138	100.0	合 計	136	100.0	合 計	137	100.0	合 計	136	100.0	

表 4-6-5 4基又は5基施設の棺の許容サイズ【設問6】

項目	区分			区分			区分			区分		
	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量m ³		
データ数	150			147			147			147		
平均	2,032			625			531			1		
最大	2,470			800			860			1		
最小	1,800			480			400			0		
分布	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
	1,900以下	16	10.7	500以下	3	2.0	450以下	21	14.3	0.55未満	11	7.5
	1,901~2,000	77	51.3	501~550	14	9.5	451~500	59	40.1	0.55~0.64	47	32.0
	2,001~2,100	38	25.3	551~600	48	32.7	501~550	20	13.6	0.65~0.74	35	23.8
	2,101~2,200	12	8.0	601~650	57	38.8	551~600	30	20.4	0.75~0.84	22	15.0
	2,201~2,300	4	2.7	651~700	21	14.3	601~650	14	9.5	0.85~0.94	17	11.6
	2,301以上	3	2.0	701以上	4	2.7	651以上	3	2.0	0.95以上	15	10.2
	合計	150	100.0	合計	147	100.0	合計	147	100.0	合計	147	100.0

表 4-6-6 6基以上施設の棺の許容サイズ【設問6】

項目	区分			区分			区分			区分		
	棺長さmm			幅mm			高さmm			棺容量m ³		
データ数	159			156			157			156		
平均	2,062			645			549			1		
最大	2,450			851			870			2		
最小	1,800			500			400			0		
分布	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
	1,900以下	15	9.4	500以下	1	0.6	450以下	15	9.6	0.55未満	7	4.5
	1,901~2,000	66	41.5	501~550	6	3.8	451~500	57	36.3	0.55~0.64	32	20.5
	2,001~2,100	42	26.4	551~600	33	21.2	501~550	24	15.3	0.65~0.74	40	25.6
	2,101~2,200	19	11.9	601~650	69	44.2	551~600	32	20.4	0.75~0.84	26	16.7
	2,201~2,300	14	8.8	651~700	39	25.0	601~650	24	15.3	0.85~0.94	23	14.7
	2,301以上	3	1.9	701以上	8	5.1	651以上	5	3.2	0.95以上	28	17.9
	合計	159	100.0	合計	156	100.0	合計	157	100.0	合計	156	100.0

図 4-6-1 棺長さの許容サイズの分布【設問6】

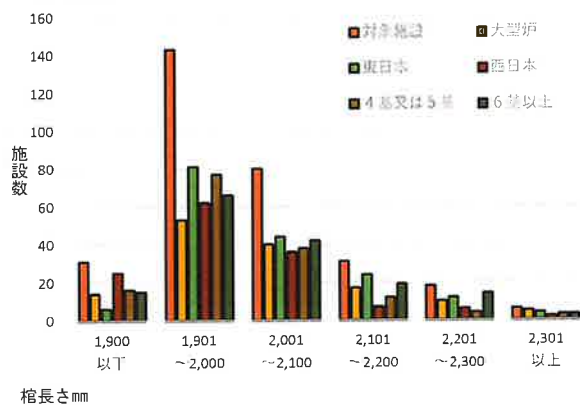
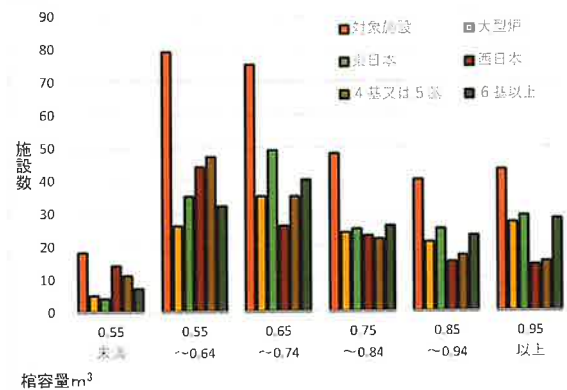


図 4-6-2 棺容量の許容サイズの分布【設問6】



1-4-5. 火葬炉の経過年数

現在稼働中の火葬炉の設置後の経過年数は平均 20.3 年（範囲 0～71 年）であり、20 年以下が 166 施設（51.4%）を占めている。「火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針」（火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策検討会、平成 12 年 3 月）に沿ってダイオキシン類削減対策が施された火葬炉が 50%以上になっていると評価できる。

地域別に経過年数を見ると、東日本と西日本に大きな差異は認められない。

規模別に見ると、4 基又は 5 基施設（平均 21.9 年）が 6 基以上施設（平均 18.8 年）より経過年数が長く、20 年以下を見ても 4 基又は 5 基施設が 72 施設（45.6%）、6 基以上施設が 94 施設（57.0%）とより大規模な施設の火葬炉の整備が進んでいると考えられる。

表 4-7-1 地域別の現在稼働中火葬炉の設置後の経過年数【設問 7】

項目		全 国		東 日 本		西 日 本	
経過年数 (年)	データ数	323		178		145	
	平均	20.3		20.0		20.7	
	最大	71		54		71	
	最小	0		0		0	
経過年数 ごとの 施設数		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
	10年以下	96	29.7	54	30.3	42	29.0
	11～20年	70	21.7	37	20.8	33	22.8
	21～30年	85	26.3	50	28.1	35	24.1
	31～40年	53	16.4	26	14.6	27	18.6
	41～50年	15	4.6	9	5.1	6	4.1
	51年以上	4	1.2	2	1.1	2	1.4
	合計	323	100.0	178	100.0	145	100.0

表 4-7-2 規模別の現在稼働中火葬炉の設置後の経過年数【設問 7】

項目		全 国		4 基又は 5 基施設		6 基以上施設	
経過年数 (年)	データ数	323		158		165	
	平均	20.3		21.9		18.8	
	最大	71		55		71	
	最小	0		0		0	
経過年数 ごとの 施設数		施設数	構成比%	施設数	構成比%	施設数	構成比%
	10年以下	96	29.7	36	22.8	59	35.8
	11～20年	70	21.7	36	22.8	35	21.2
	21～30年	85	26.3	46	29.1	38	23.0
	31～40年	53	16.4	30	19.0	24	14.5
	41～50年	15	4.6	7	4.4	8	4.8
	51年以上	4	1.2	3	1.9	1	0.6
	合計	323	100.0	158	100.0	165	100.0

図 4-7-1 地域別の火葬炉経過年数の分布【設問 6】

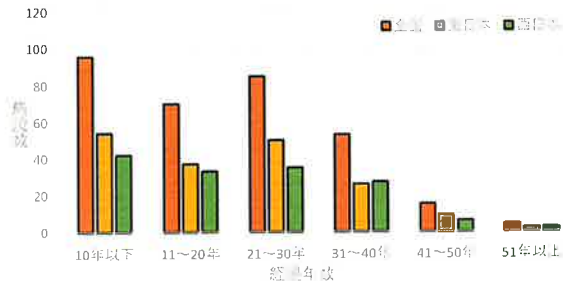
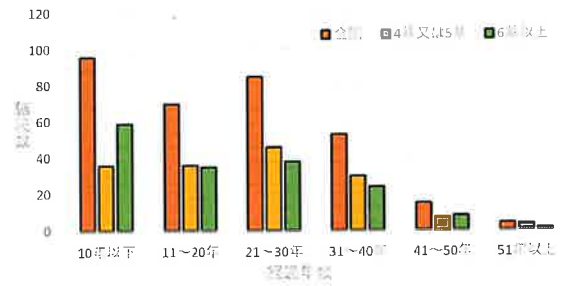


図 4-7-2 規模別の火葬炉経過年数の分布【設問 6】



1-4-6. 令和 2 年度の火葬件数、稼働日数等について

- (1) 令和 2 年度の火葬件数は、平均 2,334 件（範囲 285～16,269 件）、管外割合が平均 6.8%（範囲 0.0～51.1%）、年間稼働率が平均 94.9%（範囲 66.0～100.0%）、1 日最大受入件数が平均 13.6 件（範囲 2～75 件）、火葬炉 1 基 1 日最大件数が平均 2.3 件（範囲 1～4 件）である。
- (2) 地域別の火葬実施状況を見ると、火葬件数は東日本が平均 2,537 件（範囲 285～16,269 件）、西日本が平均 2,083 件（範囲 343～13,554 件）、1 日最大受入件数は東日本が平均 14.3 件（範囲 4～75 件）、西日本が平均 12.6 件（範囲 4～62 件）であり、東日本の受入件数がやや多くなっている。
- (3) 規模別の火葬実施状況を見ると、稼働率は 4 基又は 5 基施設が平均 91.3%（範囲 66.0～100.0%）、6 基以上施設が平均 98.2%（範囲 80.0～100.0%）と 6 基以上施設がやや高くなっている。

表4-8-1 対象施設の令和2年度における火葬実施状況（全国）【設問8】

項目	区分	火 葬 件 数					
		火葬件数	管内件数	管外件数	管 外 割 合 %		
データ数		323	323	323	323		
平均		2,334	2,168	166	6.8		
最大		16,269	14,254	2,747	51.1		
最小		285	233	0	0.0		
分 布				分布	施設数	構成比%	
				0%	15	4.6	
				0.1~5%	171	52.9	
				5.1~10%	72	22.3	
				10.1~15%	32	9.9	
				15.1~20%	13	4.0	
				20.1%以上	20	6.2	
			合計	323	100.0		
項目	区分	年間稼働日数	年間開場日数	稼働率（稼働／開場）%		1日最大受入件数	
				稼働率	稼働率		
データ数		315	320	315	324	324	
平均		318	336	94.9	13.6	13.6	
最大		365	365	100.0	75	75	
最小		168	169	66.0	2	2	
分 布				分布	施設数	構成比%	
				80%以下	16	5.1	
				80.1~85%	30	9.5	
				85.1~90%	27	8.6	
				90.1~95%	37	11.7	
				95.1~99.9%	75	23.8	
				100%	130	41.3	
			合計	315	100.0		
項目	区分	火葬炉1基1日最大件数			1基当たりの最大受入件数		
		最大件数	施設数	構成比%	最大件数	施設数	構成比%
データ数		324			324		
平均		2.3			1.9		
最大		4			4		
最小		1			1		
分 布		分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
		1件	15	4.6	1件	14	4.3
		2件	203	62.7	1.1~1.5件	76	23.5
		3件	95	29.3	1.6~2件	150	46.3
		4件	11	3.4	2.1~2.5件	50	15.4
		5件	0	0.0	2.6~3件	25	7.7
		6件以上	0	0.0	3.1件以上	9	2.8
		合計	324	100.0	合計	324	100.0

表4-8-2 対象施設の令和2年度における火葬実施状況（東日本）【設問8】

項目	火 葬 件 数					
	火葬件数	管内件数	管外件数	管 外 割 合 %		
データ数	178	174	174	178		
平均	2,537	2,359	181	7.0		
最大	16,269	14,254	2,015	51.1		
最小	285	233	0	0.0		
分 布				分布	施設数	構成比%
				0%	10	5.6
				0.1~5%	87	48.9
				5.1~10%	44	24.7
				10.1~15%	19	10.7
				15.1~20%	9	5.1
				20.1%以上	9	5.1
			合計	178	100.0	
項目	区分		稼働率（稼働／開場）%	1日最大受入件数		
	年間稼働日数	年間開場日数				
データ数	174	176	174	179		
平均	308	326	95.0	14.3		
最大	364	365	100.0	75		
最小	229	262	69.0	4		
分 布			分布	施設数	構成比%	
			80%以下	8	4.6	
			80.1~85%	22	12.6	
			85.1~90%	12	6.9	
			90.1~95%	13	7.5	
			95.1~99.9%	38	21.8	
			100%	81	46.6	
		合計	174	100.0		
項目	区分			1基当たりの最大受入件数		
	火葬炉1基1日最大件数					
データ数	178			179		
平均	2.4			2.0		
最大	4			4		
最小	1			1		
分 布	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
	1件	2	1.1	1件	3	1.7
	2件	103	57.9	1.1~1.5件	35	19.6
	3件	67	37.6	1.6~2件	84	46.9
	4件	6	3.4	2.1~2.5件	37	20.7
	5件	0	0.0	2.6~3件	16	8.9
	6件以上	0	0.0	3.1件以上	4	2.2
	合計	178	100.0	合計	179	100.0

表4-8-3 対象施設の令和2年度における火葬実施状況（西日本）【設問8】

項目	区分	火 葬 件 数					
		火葬件数	管内件数	管外件数	管 外 割 合 %		
データ数		145	141	141	145		
平均		2,083	1,963	139	6.4		
最大		13,554	11,929	1,625	48.9		
最小		343	341	0	0.0		
分 布					分布	施設数	構成比%
					0%	5	3.4
					0.1~5%	84	57.9
					5.1~10%	29	20.0
					10.1~15%	13	9.0
					15.1~20%	4	2.8
					20.1%以上	10	6.9
				合計	145	100.0	
項目	区分	年間稼働日数	年間開場日数	稼働率（稼働／開場）%		1日最大受入件数	
				稼働率	稼働率		
データ数		141	144	141	145	145	
平均		331	349	94.8	12.6	12.6	
最大		365	365	100.0	62	62	
最小		168	169	66.0	4	4	
分 布				分布	施設数	構成比%	
				80%以下	8	5.7	
				80.1~85%	8	5.7	
				85.1~90%	15	10.6	
				90.1~95%	24	17.0	
				95.1~99.9%	38	27.0	
				100%	48	34.0	
			合計	141	100.0		
項目	区分	火葬炉1基1日最大件数			1基当たりの最大受入件数		
		最大件数	施設数	構成比%	最大件数	施設数	構成比%
データ数		141			145		
平均		2.1			1.8		
最大		4			4		
最小		1			1		
分 布		分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
		1件	14	9.9	1件	15	10.3
		2件	97	68.8	1.1~1.5件	41	28.3
		3件	26	18.4	1.6~2件	65	44.8
		4件	4	2.8	2.1~2.5件	13	9.0
		5件	0	0.0	2.6~3件	8	5.5
		6件以上	0	0.0	3.1件以上	3	2.1
	合計	141	100.0	合計	145	100.0	

表4-8-4 対象施設の令和2年度における火葬実施状況（4基又は5基施設）【設問8】

区分 項目	火 葬 件 数					
	火葬件数	管内件数	管外件数	管 外 割 合 %		
データ数	159	155	155	159		
平均	1,029	954	73	6.5		
最大	3,340	3,055	764	51.1		
最小	285	233	0	0.0		
分 布				分布	施設数	構成比%
				0%	7	4.4
				0.1~5%	86	54.1
				5.1~10%	38	23.9
				10.1~15%	13	8.2
				15.1~20%	7	4.4
				20.1%以上	8	5.0
				合計	159	100.0
区分 項目	年間稼働 日数	年間開場 日数	稼働率（稼働／開場）%			1日最大受 入件数
			分布	施設数	構成比%	
データ数	151	156	151	160		
平均	310	340	91.3	8.1		
最大	364	365	100.0	20		
最小	200	276	66.0	4		
分 布			80%以下	15	9.9	
			80.1~85%	20	13.2	
			85.1~90%	27	17.9	
			90.1~95%	28	18.5	
			95.1~99.9%	38	25.2	
			100%	23	15.2	
			合計	151	100.0	
	区分 項目	火葬炉1基1日最大件数			1基当たりの最大受入件数	
データ数	157			160		
平均	2.2			1.9		
最大	4			4		
最小	1			1		
分 布	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
	1件	12	7.6	1件	13	8.1
	2件	105	66.9	1.1~1.5件	41	25.6
	3件	32	20.4	1.6~2件	75	46.9
	4件	8	5.1	2.1~2.5件	15	9.4
	5件	0	0.0	2.6~3件	12	7.5
	6件以上	0	0.0	3.1件以上	4	2.5
	合計	157	100.0	合計	160	100.0

表4-8-5 対象施設の令和2年度における火葬実施状況（6基以上施設）【設問8】

区分 項目	火 葬 件 数					
	火葬件数	管内件数	管外件数	管 外 割 合 %		
データ数	164	160	160	164		
平均	3,598	3,371	248	6.9		
最大	16,269	14,254	2,015	48.9		
最小	453	426	0	0.0		
分 布				分布	施設数	構成比%
				0%	8	4.9
				0.1~5%	85	51.8
				5.1~10%	35	21.3
				10.1~15%	19	11.6
				15.1~20%	6	3.7
				20.1%以上	11	6.7
			合計	164	100.0	
区分 項目	年間稼働 日数	年間開場 日数	稼働率（稼働／開場）%			1日最大受 入件数
データ数	164	164	164			164
平均	326	332	98.2			18.9
最大	365	365	100.0			75
最小	168	169	80.0			6
分 布			分布	施設数	構成比%	
			80%以下	1	0.6	
			80.1~85%	10	6.1	
			85.1~90%	0	0.0	
			90.1~95%	9	5.5	
			95.1~99.9%	38	23.2	
			100%	106	64.6	
		合計	164	100.0		
区分 項目	火葬炉1基1日最大件数			1基当たりの最大受入件数		
データ数	162			164		
平均	2.4			1.9		
最大	4			4		
最小	1			1		
分 布	分布	施設数	構成比%	分布	施設数	構成比%
	1件	4	2.5	1件	5	3.0
	2件	95	58.6	1.1~1.5件	35	21.3
	3件	61	37.7	1.6~2件	74	45.1
	4件	2	1.2	2.1~2.5件	35	21.3
	5件	0	0.0	2.6~3件	12	7.3
	6件以上	0	0.0	3.1件以上	3	1.8
	合計	162	100.0	合計	164	100.0

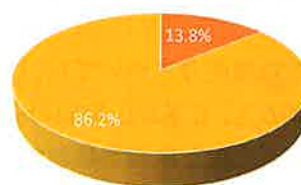
1-4-7. 火葬場の火葬処理状況について

- (1) 火葬場の処理能力については、「不足している」が13.8%、「不足していない」が86.2%であるが、規模別に見ると、6基以上施設の「不足している」が16.3%に対して4基又は5基施設が11.3%であり、より大規模な施設で処理能力の不足感が多い。
- (2) 能力不足の理由については、「死亡者数の増加」が50.7%、「施設の老朽化」が32.8%、「機能の劣化」が13.4%である。地域別、規模別に見ると、「死亡者数の増加」が東日本、6基以上施設でやや多く、「施設の劣化」が4基又は5基施設でやや多くなっている。
- (3) 能力不足への対応については、「新施設の検討」が37.5%、「増設の検討」が32.1%と多く、「稼働日の増加」が10.7%、「火葬炉稼働（火葬炉の火葬回数）の増加」が8.9%である。地域別、規模別に見ると、4基又は5基施設の「新施設の検討」が50.0%でやや多くなっている。
- (4) 火葬場でのご遺体に触れる機会については、「ない」が95.5%、「ある」が4.5%であり、あまり触れる機会はないと思われる。「ある」場合のご遺体の取扱いに係る基準・手順については、「ない」が100%である。
- (5) 火葬後の火葬炉内部にご遺体の体液等の付着については、「しばしばある」が2件（4.4%）、「まれにある」が10件（22.2%）である。「しばしばある」施設の使用火葬炉設置後年数は28年、12年であり、整備の徹底が望まれる。
- (6) 棺の取扱いについての基準の有無については、42件の回答すべてが「ない」である。

表 4-9-1 火葬場の能力の過不足（全国）【設問 9-1】

区分	項目	回答数	構成比%
	不足している	45	13.8
	不足していない	280	86.2
合	計	325	100.0

図 4-8-1 火葬場の能力の過不足（全国）【設問 9-1】



■ 不足している ■ 不足していない

表 4-9-2 火葬場の能力の過不足（東日本）【設問 9-1】

区分	項目	回答数	構成比%
	不足している	26	14.5
	不足していない	153	85.5
合	計	179	100.0

図 4-8-2 火葬場の能力の過不足（東日本）【設問 9-1】



■ 不足している ■ 不足していない

表 4-9-3 火葬場の能力の過不足（西日本）【設問 9-1】

区分	項目	回答数	構成比%
	不足している	19	13.0
	不足していない	127	87.0
合	計	146	100.0

図 4-8-3 火葬場の能力の過不足（西日本）【設問 9-1】



■ 不足している ■ 不足していない

表 4-9-4 火葬場の能力の過不足（4基又は5基施設）【設問 9-1】

区分	項目	回答数	構成比%
	不足している	18	11.3
	不足していない	141	88.7
合	計	159	100.0

図 4-8-4 火葬場の能力の過不足（4基又は5基施設）【設問 9-1】



■ 不足している ■ 不足していない

表 4-9-5 火葬場の能力の過不足（6基以上施設）【設問 9-1】

区分	項目	回答数	構成比%
	不足している	27	16.3
	不足していない	139	83.7
合	計	166	100.0

図 4-8-5 火葬場の能力の過不足（6基以上施設）【設問 9-1】



■ 不足している ■ 不足していない

表 4-10-1 不足している理由(複数回答可)(全国)【設問 9-2】

区分	項目	回答数	構成比%
	死亡者数の増加	34	50.7
	施設の老朽化	22	32.8
	機能の劣化	9	13.4
	その他	2	3.0
	合計	67	100.0

その他：新型コロナ時間外対応、職員の不足

表 4-10-2 不足している理由(複数回答可)(東日本)【設問 9-2】

区分	項目	回答数	構成比%
	死亡者数の増加	21	55.3
	施設の老朽化	12	31.6
	機能の劣化	4	10.5
	その他	1	2.6
	合計	38	100.0

表 4-10-3 不足している理由(複数回答可)(西日本)【設問 9-2】

区分	項目	回答数	構成比%
	死亡者数の増加	13	44.8
	施設の老朽化	10	34.5
	機能の劣化	5	17.2
	その他	1	3.4
	合計	29	100.0

表 4-10-4 不足している理由(複数回答可)(4基又は5基施設)【設問 9-2】

区分	項目	回答数	構成比%
	死亡者数の増加	10	33.3
	施設の老朽化	14	46.7
	機能の劣化	5	16.7
	その他	1	3.3
	合計	30	100.0

表 4-10-5 不足している理由(複数回答可)(6基以上施設)【設問 9-2】

区分	項目	回答数	構成比%
	死亡者数の増加	24	64.9
	施設の老朽化	8	21.6
	機能の劣化	4	10.8
	その他	1	2.7
	合計	37	100.0

図 4-9-1 不足している理由(複数回答可)(全国)【設問 9-2】

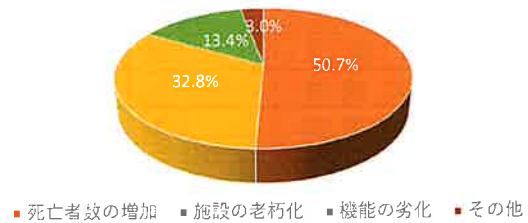


図 4-9-2 不足している理由(複数回答可)(東日本)【設問 9-2】

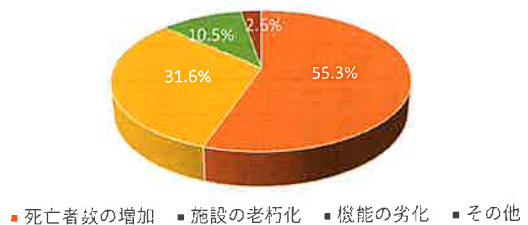


図 4-9-3 不足している理由(複数回答可)(西日本)【設問 9-2】

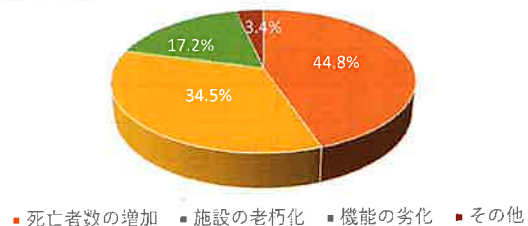


図 4-9-4 不足している理由(複数回答可)(4基又は5基施設)【設問 9-2】

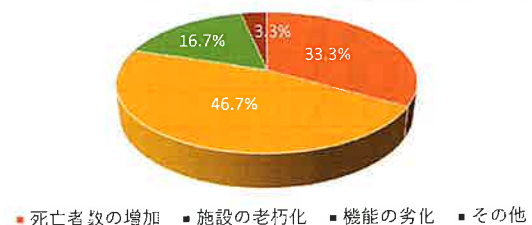


図 4-9-5 不足している理由(複数回答可)(6基以上施設)【設問 9-2】

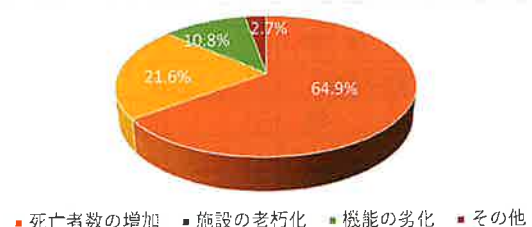


表 4-11-1 不足の場合の対応（複数回答可）（全国）【設問 9-3】

区分	項目	回答数	構成比%
	増設の検討	18	32.1
	新施設の検討	21	37.5
	稼働日の増加	6	10.7
	火葬炉稼働の増加	5	8.9
	その他	6	10.7
	合計	56	100.0

その他：葬儀業者との交渉により調整 2 件、
火葬受入数の制限、

表 4-11-2 不足の場合の対応（複数回答可）（東日本）【設問 9-3】

区分	項目	回答数	構成比%
	増設の検討	11	29.7
	新施設の検討	15	40.5
	稼働日の増加	6	16.2
	火葬炉稼働の増加	4	10.8
	その他	1	2.7
	合計	37	100.0

表 4-11-3 不足の場合の対応（複数回答可）（西日本）【設問 9-3】

区分	項目	回答数	構成比%
	増設の検討	7	36.8
	新施設の検討	6	31.6
	稼働日の増加	0	0.0
	火葬炉稼働の増加	1	5.3
	その他	5	26.3
	合計	19	100.0

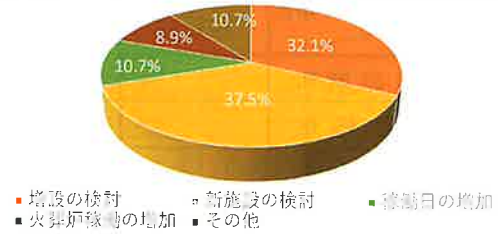
表 4-11-4 不足の場合の対応（複数回答可）（4 基又は 5 基施設）【設問 9-3】

区分	項目	回答数	構成比%
	増設の検討	6	30.0
	新施設の検討	10	50.0
	稼働日の増加	0	0.0
	火葬炉稼働の増加	1	5.0
	その他	3	15.0
	合計	20	100.0

表 4-11-5 不足の場合の対応（複数回答可）（6 基以上施設）【設問 9-3】

区分	項目	回答数	構成比%
	増設の検討	12	33.3
	新施設の検討	11	30.6
	稼働日の増加	6	16.7
	火葬炉稼働の増加	4	11.1
	その他	3	8.3
	合計	36	100.0

図 4-10-1 不足の場合の対応（複数回答可）（全国）【設問 9-3】



職員の確保、業務体制の検討
現状維持

図 4-10-2 不足の場合の対応（複数回答可）（東日本）【設問 9-3】

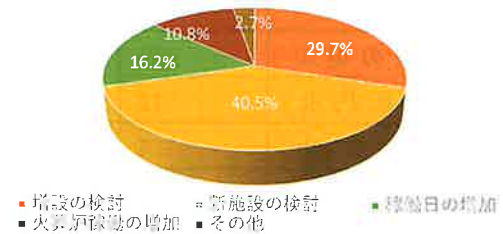


図 4-10-3 不足の場合の対応（複数回答可）（西日本）【設問 9-3】

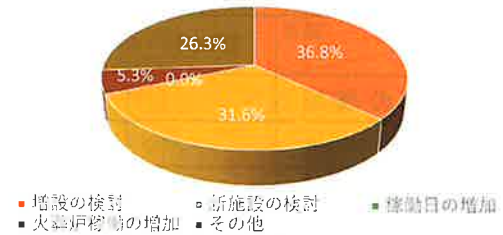


図 4-10-4 不足の場合の対応（複数回答可）（4 基又は 5 基施設）【設問 9-3】

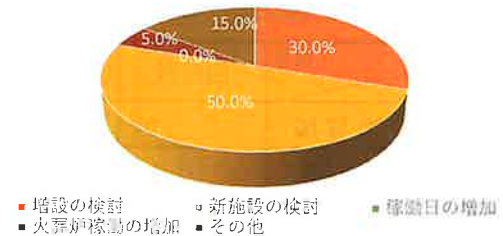


図 4-10-5 不足の場合の対応（複数回答可）（6 基以上施設）【設問 9-3】

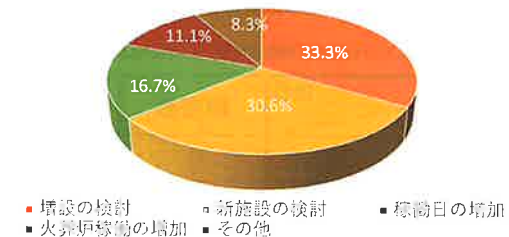


表 4-12 ご遺体に触れる機会【設問 9-4】

区分	項目	回答数	構成比%
	あ る	2	4.5
	な い	42	95.5
	合 計	44	100.0

「ある」の具体的な場面
 希望者には触れさせている
 告別式で最後のお別れの時

表 4-13 ご遺体の取扱いに係る基準・手順【設問 9-5】

区分	項目	回答数	構成比%
	あ る	0	0.0
	な い	2	100.0
	合 計	2	100.0

表 4-14 炉内にご遺体の体液等の付着【設問 9-6】

区分	項目	回答数	構成比%
	しばしばある	2	4.4
	まれにある	10	22.2
	な い	31	68.9
	そ の 他	2	4.4
	合 計	45	100.0

「しばしばある」施設とは
 礪波市斎場（富山県、H21 竣工）
 船井郡衛生管理組合火葬場（京都府、H5 竣工）

表 4-15 棺の取扱いについて基準【設問 9-7】

区分	項目	回答数	構成比%
	あ る	0	0.0
	な い	42	100.0
	合 計	42	100.0

図 4-11 ご遺体に触れる機会【設問 9-4】

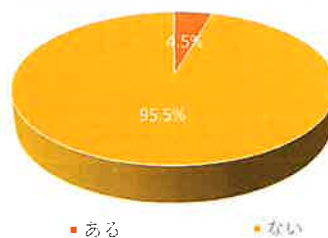
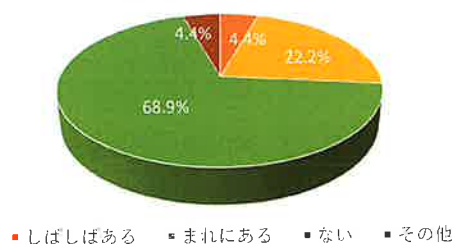


図 4-12 炉内にご遺体の体液等の付着【設問 9-6】



1-5. まとめ

火葬場における遺体安置の状況をまとめると以下のとおりである。

- (1) 今回の火葬場における遺体安置に関するアンケートは、火葬炉数4基以上の501施設を対象として実施し、回答票数326、回収率65.1%である。
- (2) 火葬場の処理能力については、全体的には「不足していない」が多くを占めているが、火葬炉を多く有する施設（火葬炉6基以上施設）で処理能力の不足感が多い。能力不足の理由は、「死亡者数の増加」、「施設の老朽化」が多くなっており、その対応は「新施設の検討」、「増設の検討」が主になっている。
- (3) 遺体安置機能を有する火葬場は約70%であり、より大規模な施設がやや多くなっている。収容能力は平均2.3体であるが、多くは1体又は2体である。各施設の遺体安置の収容能力では、能力が高い火葬場が東日本、特に首都圏に集中している。能力が高い施設は、東日本では東京都大田区臨海斎場24体分、千葉県船橋市馬込斎場16体分、千葉県習志野市しおかぜホール茜浜と神奈川県川崎市南部斎苑12体分であり、西日本では高知県高知市斎場、宮崎県延岡市斎場の10体分である。
- (4) 遺体安置の機能としては、遺体冷蔵庫が83%以上を占めているが、遺体安置室に冷蔵機能を持たせたものもある。ただし、施設の建設年代が古くなると遺体安置室に冷蔵機能の無い施設があり、西日本にやや多い傾向にある。
- (5) 遺体の安置を行った実績は、令和2年度で平均115.7体であるが、0体（実績なし）と1~50体で65%以上を占めている。安置（待機）時間の平均日数の実績は、令和2年度で平均1.71日間であり、2日以下が80%近くとかなり多くを占めている。最大日数は、平均5.36日間、4日以下が約67%と比較的多くを占めている。東日本と西日本を比べると、収容能力が多い東日本は実績が多く、安置時間が長くなっている。
- (6) 安置（待機）時間の近年の変化については、「あまり変わらない」が80%以上と最も多いが、「増加している」が10%を占めている。
- (7) 安置（待機）時間が長い場合のトラブルについては、「ある」が3施設（1.6%）、臭気に関するトラブルであり、トラブルが非常に少ない程度と言える。
- (8) 遺体安置の利用者は、通常の火葬待ち（火葬までの待機）が約40%、身寄りのないご遺体等の福祉関係が約37%、身元不明のご遺体等の警察関係が約15%となっている。
- (9) 遺体安置の目的は、「火葬の順番待ち」が約44%、「遺族が揃うまで」が約23%、「火葬の許可待ち」が約22%となっている。
- (10) 遺体安置の使用料は、「有料」が約85%であり、かなり多くを占めている。料金は、管内、1日当たりの料金で、平均約3,100円であるが、0~5,000円の範囲でばらついている。地域別、規模別に平均金額を見ると、西日本、小規模施設がやや高い傾向にある。
- (11) 遺体安置を受け入れる際の条件は、「遺体を棺に収納」が53%、「棺の大きさ」が43%、「利用者制限の厳守」が34%、「受入時間帯の厳守」が34%となっている。
- (12) 遺体安置の管理上の基準は、「室（装置）内の温度」が34%、「故人名の貼り付け」が26%、「面会の制限の厳守」が20%となっている。「室（装置）内の温度」は、平均2.8℃であり、2.1~5℃が47%と多くを占めている。「室（装置）内の消毒、清掃等の衛生基準」は、いずれも使用後で、清掃、消毒、アルコール消毒、オゾン消毒等となっている。
- (13) ガイドラインの「2-7 火葬」に基づいた処理は、「行われている」が74.1%、「概ね行われている」が

23.7%、「行われていない」が2.2%、「知らなかった」が0（0.0%）であり、「行われている」「概ね行われている」で97.8%を占めている。

- (14) 遺体安置の設置時期については、「稼働当初から」が90%以上を占めている。
- (15) 現在遺体安置機能を持っている火葬場の今後の整備予定は、「整備予定なし」が94%とほとんどを占めているが、6施設が「増設を予定」、7施設が「増設を検討中」である。
- (16) 現在遺体安置機能を持っていない火葬場の今後の整備予定は、「整備予定なし」が90%以上とほとんどであり、3施設が「整備を検討中」と少なく、「数年内に整備を予定」は全くない。

「火葬場における遺体安置に関するアンケート調査」ご協力のお願い

今回お送りさせていただきましたアンケートは、令和3年度厚労科学研究事業として、皆さまから広く火葬場における遺体安置に関するお考えやご意見をお聞きし、今後、死亡者数が増加してゆくなかにあつての火葬場のあり方を考えてゆくための基礎資料として活用させていただくものです。

お伺いした内容は統計的に処理しますので、個別の火葬場名、回答者である個人名が出たり、特定されたりすることは一切ございませんので、率直なご意見をいただきたく、お願い申し上げます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。

令和4年2月

公益社団法人 全日本墓園協会
理事・主管研究員
令和3年度厚労科学研究事業
研究代表者 横田 睦

お問い合わせ先

このアンケートについてのお問い合わせは、次の担当までご連絡ください。

公益社団法人 全日本墓園協会 内「厚労科学研究事業」担当（大和・安孫子）
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-12 山萬ビル807
TEL:03-5298-3282 FAX:03-5298-0085

◆ アンケート調査の対象について

現在の稼働している火葬場 1,437 箇所（厚生労働省 衛生行政報告）のうち、既往の調査で遺体安置を行っておられることが想定される炉数 4 基以上の火葬場を対象に、実施させていただくものです。

◆ 調査回答書類の取扱いについて

- ・調査は無記名で、集計は統計的に処理します。
- ・集計した調査結果は、令和3年度厚労科学研究事業の報告書として取りまとめます。
- ・ご記入いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用しません。

【ご記入にあたって】

※：各設問について、最も適当と思われる番号に○印をつけてください。設問によっては複数の回答が必要な場合がありますので、ご注意ください。また、「その他」などの項目を選択された場合には、後の（ ）内に具体的事項のご記入もお願いします。

※：設問選択肢の「具体的に」について、指定欄・枠に書き込めない場合、余白をご利用下さい。

なお、複数の火葬場を稼働なされておられる場合、お手数ですが、アンケート票をコピーし、該当火葬場分全てについて、ご回答下さい。お願い致します。

◆ 調査票の回収

ご記入いただいた調査票は **3月4日（金）** には、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函いただくか、FAX（03-5298-0085）、あるいは、メール（info@zenbokyo.or.jp）によって、ご返送下さい。

なお、アンケート調査票は表裏の両面にわたります。ご注意ください。

《お願い》！【設問3】で「2箇所以上」とご記入の方は、大変お手数をおかけしますが、このアンケート用紙を、各々の火葬場ごとにご回答下さい。必要部数をコピーして、それぞれご記入ください！

第1 始めに調査票記入者について伺います。

住所	〒 -
所属	
氏名	
フリガナ	
電話（内線）	- - () ,FAX - -
E-mail	

第2 行政区域内の埋火葬について伺います。

【設問1】行政区域内人口は（令和2年10月1日現在）

_____人

【設問2】令和2年度埋火葬実績（一部事務組合等の場合は構成市町村の合計でお答えください）

1 死亡者数		人
2 火葬数		人
3 埋葬数（火葬によらない方法）		人

【設問3】行政区域内で、火葬場の人体炉が4基以上の施設

_____箇所

第3 火葬場の概要について伺います。

【設問4】火葬場の名称と所在地

火葬場の名称			
〒		都道府県名	
市区町村		番地	
電話		FAX	
担当者氏名		フリガナ	

【設問5】火葬場の建物の竣工年月

昭和 ・ 平成 ・ 令和	_____年	_____月
--------------	--------	--------

※設問 9-6 燃焼室下部等に明らかに火葬前のご遺体の体液等が付着していることがありますか。

- 1.しばしばある。 2.まれにある（年間に数回程度）
3.ない 4.その他（_____）

※設問 9-7 棺の取扱いについて基準（棺の消毒、作業員側の取扱い手順、体液が漏れた場合の対応、棺が壊れた場合の対応等）はありますか。

- 1.ある（具体的に_____） 2.ない

【設問 10】「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」（令和 2 年 7 月 29 日付け厚労省・経産省）（以下「ガイドライン」という。）についてお尋ねします。

※設問 10-1 ガイドラインの「2-7 火葬」に基づいた処理は行われていますか？

- 1.行われている 2.概ね行われている 3.行われていない 4.知らなかった

※設問 10-2 現在ガイドラインの「2-8 拾骨」に基づいた処理は行われていますか？

- 1.行われている 2.概ね行われている 3.行われていない 4.知らなかった

※設問 10-3 （ご遺体が棺に収納されずに火葬場に搬入された場合）納体袋の取扱いについて、ガイドラインに基づいた処理は行われていますか？（そのような場合がなければ「予定」でお答えください）

- 1.行われている 2.概ね行われている 3.行われていない 4.知らなかった

※設問 10-4 「情報共有シート」について、利用されていますか？

- 1.利用している 2.概ね利用している 3.利用していない 4.知らなかった

第 5 火葬場の遺体安置について伺います。（人体火葬についてのみお答えください。）

※設問 11-1 遺体安置の機能はありますか。

- 1.有り⇒（以下の設問にお答え下さい。） 2.無し⇒ **【設問 18】へお進みください。**

※設問 11-2 遺体安置の機能とは遺体冷蔵庫ですか。

- 1.遺体冷蔵庫である 2.遺体安置室であり、部屋全体が冷蔵機能を持っている
3.遺体安置室であり、部屋に冷蔵機能はない
4.その他（_____）

※設問 11-3 遺体安置の収容能力は ご遺体_____体分

※設問 11-4 令和 2 年度実績での安置ご遺体数は_____体

※設問 11-5 火葬場での安置（待機）時間は、平均_____時間、最大_____時間
または 平均_____日間、最大_____日間

※設問 11-6 設問 11-5 の安置（待機）時間について、近年変化は見られますか？

- 1.増加している⇒（どの程度伸びていますか_____） 2.あまり変化はない。
3.減っている⇒（どの程度減っていますか_____）

※設問 11-7 設問 11-5 の安置（待機）時間が長いと、トラブルになることはありますか。

- 1.ある⇒（どの程度の頻度でトラブルは起きていますか_____）
2.ない

【設問 12】遺体安置の利用者はどなたですか。（複数回答可）

※設問 12-1 安置されるご遺体は、どのような方のものですか。

- 1.通常の火葬 2.身寄りのないご遺体等、福祉関係
3.外国籍の方 4.警察関係 5.その他（_____）

※設問 12-2 遺体安置の目的は何ですか。(複数回答可)

- 1.火葬の順番が回ってくるまでの待機
- 2.遺族が揃うまでの待機
- 3.火葬の許可が出るまでの待機
- 4.その他 (_____)

【設問 13】 遺体安置の使用料について。遺体安置の保管料は有料ですか。

- 1.有料
1 時間当たり _____ 円
1 日当り _____ 円
その他 (_____)
- 2.無料

【設問 14】 遺体安置の設置はいつですか。

- 1.火葬場の稼働当初から設置されている。
- 2.稼働後に設置した。⇒稼働後 _____ 年
- 3.その他 (_____)

【設問 15】 現在使用中の遺体安置設備の今後の整備予定はありますか。

- 1.増設を予定している。⇒ 増設数はご遺体 _____ 体分
- 2.増設を検討中である
- 3.整備予定はない
- 4.その他 (_____)

【設問 16】 遺体安置を受け入れる際の条件がありますか。

- 1.ご遺体が棺に収納されていること
- 2.棺の大きさが許容範囲以内であること
- 3.受入時間帯を守ること
- 4.利用者制限(火葬利用、式場利用、福祉葬等)を守る
- 5.安置期間(「見込み」可)が明らか
- 6.ご遺体の保管状況が明らか
- 7.その他 (_____)

【設問 17】 遺体安置の管理上の基準がありますか。(複数回答可)

- 1.室(装置)内温度 ⇒ 温度 _____ °C
- 2.(遺体冷蔵庫での保管は) 棺内の保冷剤を取除く
- 3.(遺体冷蔵庫がない場合) 保冷剤等で棺内を冷す
- 4.室(装置)内の消毒、清掃等、衛生基準⇒(具体的に _____)
- 5.防護服や手袋の着用等、ご遺体を取り扱う作業者の衛生基準⇒(具体的に _____)
- 6.故人名を貼付ける(ご遺体の取違いの防止)
- 7.面会の制限(人数、時間等)の順守
- 8.その他 (_____)

※【設問 10-1】で「遺体安置の機能はありますか」という問いに「1.有り」とお答えくださった方はこれでアンケートは終了です。ご協力、ありがとうございました。

【設問 18】 現在遺体安置機能を持っていない火葬場で、今後遺体安置機能を整備する予定はありますか。

- 1.数年中に整備する予定である
- 2.整備を検討中である
- 3.整備する予定はない
- 4.その他 (_____)

アンケートは終了です。ご協力、ありがとうございました。